

# フクビトータル防蟻システム 「土台パッキン シロアリ保証制度」 標準仕様書



アリダンコーキング



アリダンA剤ホホワイトⅡW

# フクビ「土台パッキン シロアリ保証制度」 標準仕様書

「土台パッキン シロアリ保証制度」の適用を受ける際に、遵守して頂く施工要領等の内容を示すものですので、必ず本標準仕様書の記載内容をご理解の上、安全で確実な設計、施工を行ってください。

また、ここに記載のない内容につきましては、建築基準法、住宅の品質確保の促進等に関する法律ならびに住宅金融支援機構仕様書に従って施工されますようお願いいたします。

## 目 次

|                                             |         |
|---------------------------------------------|---------|
| ■フクビ「土台パッキン シロアリ保証制度」をご利用されるにあたって           | P.1     |
| ■玄関部打設方法別フローチャート                            | P.2・3   |
| ■防蟻処理必要部位例                                  | P.4     |
| ■土台パッキン シロアリ保証制度 部材一覧／■部材施工範囲（目安）／■必要工具・材料類 | P.5     |
| ■基本施工要領①ーアリダンA剤ホワイトⅡW                       | P.6     |
| ■基本施工要領②ーアリダンコーキング                          | P.7     |
| ■基本施工要領③ー配管周り・水抜き孔部への防蟻施工                   | P.8     |
| ■基本施工要領④ーテラス・犬走り・勝手口など外周地盤（G.L.）より高くする箇所    | P.8     |
| ■施工手順                                       |         |
| Aタイプ. 基礎底盤・立上りを「一体でコンクリート打設」する場合            | P.9～16  |
| Bタイプ. 基礎底盤・立上りを「分離してコンクリート打設」する場合           | P.17～24 |
| ■土台パッキン シロアリ保証制度                            | P.25    |

## ■フクビ「土台パッキン シロアリ保証制度」をご利用されるにあたって

### ■フクビ「土台パッキン シロアリ保証制度」利用上の注意事項

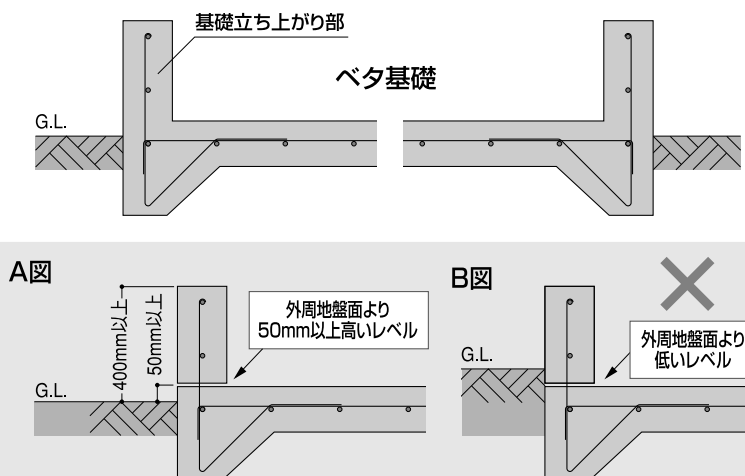
- 「土台パッキン シロアリ保証制度」の対象となる基礎形態は、ベタ基礎であることが必要条件です。

⚠注意 「土台パッキン シロアリ保証制度」をご利用の場合は、住宅金融支援機構仕様に準拠するベタ基礎に限ります。

### ベタ基礎に関する防蟻上の注意事項

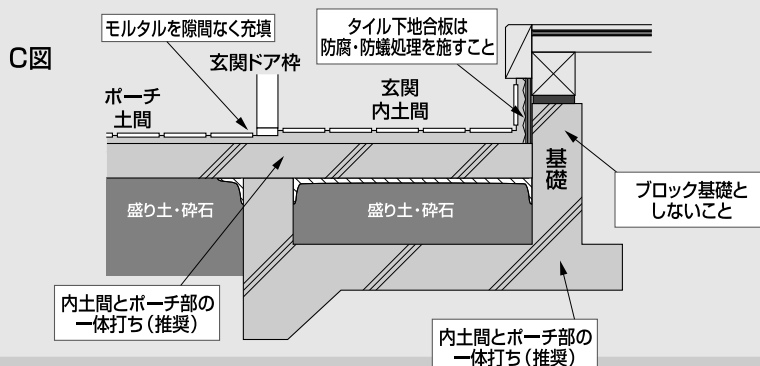
- 基礎の高さは外周地盤面（G.L.）より400mm以上、1階の床高さは450mm以上であること。
- 建物の床下土間部の方が外周地盤面より50mm以上高いレベルであること。（A図）
- フクビではシロアリが侵入しにくい「基礎底盤と基礎立ち上がりの一体打設」を推奨いたします。
- 基礎底盤と基礎立ち上がり部を分離して打設する場合は隙間のないようにすること。

※分離して打設する場合はコンクリートの打ち継ぎとなるため隙間ができやすく、この打ち継ぎ箇所を外周地盤面（G.L.）より低く設定した場合、シロアリや雨などの水分が隙間を伝って入りやすくなります。（B図）



### 玄関・勝手口、配管周りの防蟻上の注意事項

- 玄関（および勝手口）の内土間やポーチ部においては、弊社指定の防蟻処理を行うこと。
- ベタ基礎における基礎を貫通する配管等のための孔や雨水を排水する水抜き孔の間隙には（隙間がないように）モルタル処理をした上で弊社指定の防蟻処理を行うこと。（P.8参照）
- 玄関内土間とポーチ部のコンクリートを一体打ちとすること。（玄関ドアの真下をコンクリート打ち継ぎ部にしないこと）（C図）  
※シロアリが侵入しにくいコンクリート一体打ちを推奨いたします。
- 玄関・勝手口部分の土台下はブロック基礎とはしないこと。（C図）
- 玄関ドア枠下にはモルタルを隙間なく充填すること。（C図）
- 玄関・勝手口部分の土間に内土間・ポーチ部コンクリートが直に接しないようにすること。
- 玄関・勝手口等の土間コンクリートにシロアリの餌となる木材や断熱材などを埋込まないこと。
- 玄関・勝手口等のタイル下地の合板には防腐・防蟻処理を施すこと。

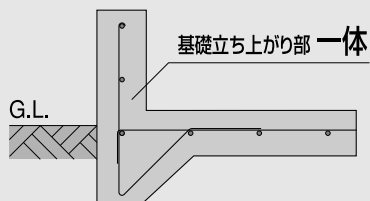


## ■玄関部打設方法別フローチャート①

玄関廻りの納まりによって施工仕様が違います。

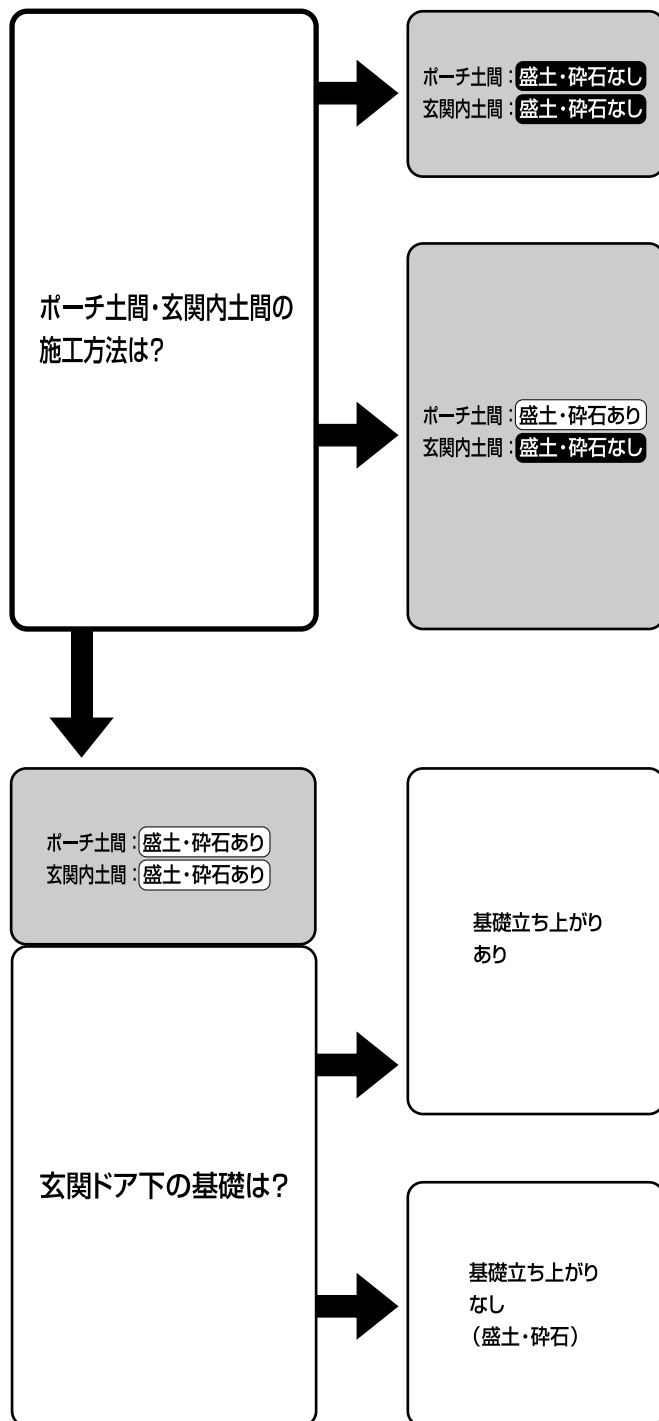
### 基礎立ち上がり部の打設方法は？

# Aタイプ



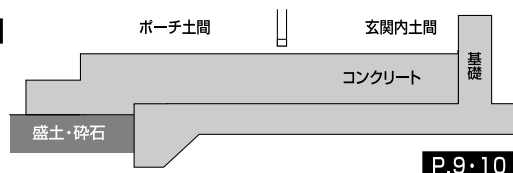
- 防蟻処理必要部位例 ..... P.4
- 土台パッキン シロアリ保証制度 部材一覧 ..... P.5
- 基本施工要領①ーアリダンA剤ホワイトⅡW ..... P.6
- 基本施工要領②ーアリダンコーキング ..... P.7
- 基本施工要領③ー配管周り・水抜き孔部の防蟻施工 ..... P.8

#### ●基礎底盤・立ち上がり一体打ち（打ち継ぎなし）



#### ●一体で土間コンクリート打設

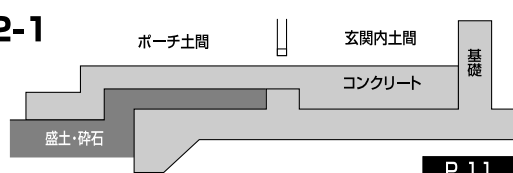
### A-1



P.9・10

#### ●一体で土間コンクリート打設

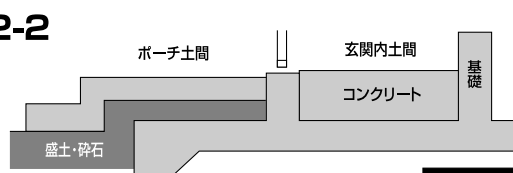
### A-2-1



P.11

#### ●分離して土間コンクリート打設

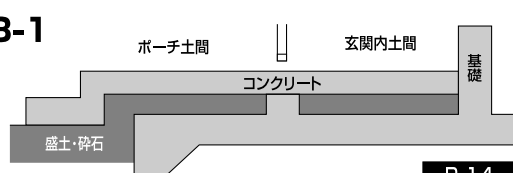
### A-2-2



P.12

#### ●一体で土間コンクリート打設

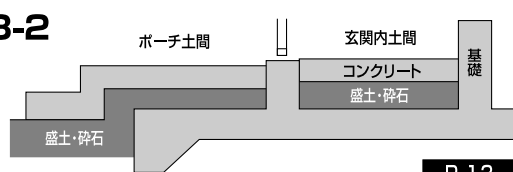
### A-3-1



P.14

#### ●分離して土間コンクリート打設

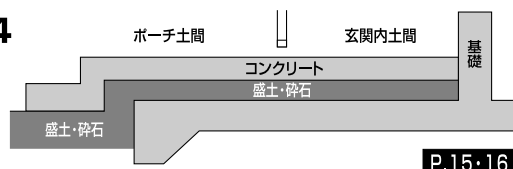
### A-3-2



P.13

#### ●一体で土間コンクリート打設

### A-4



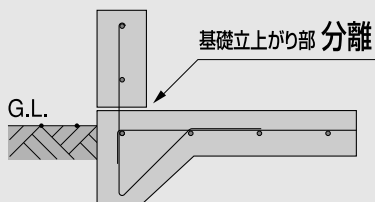
P.15・16

## ■玄関部打設方法別フローチャート②

玄関廻りの納まりによって施工仕様が違います。

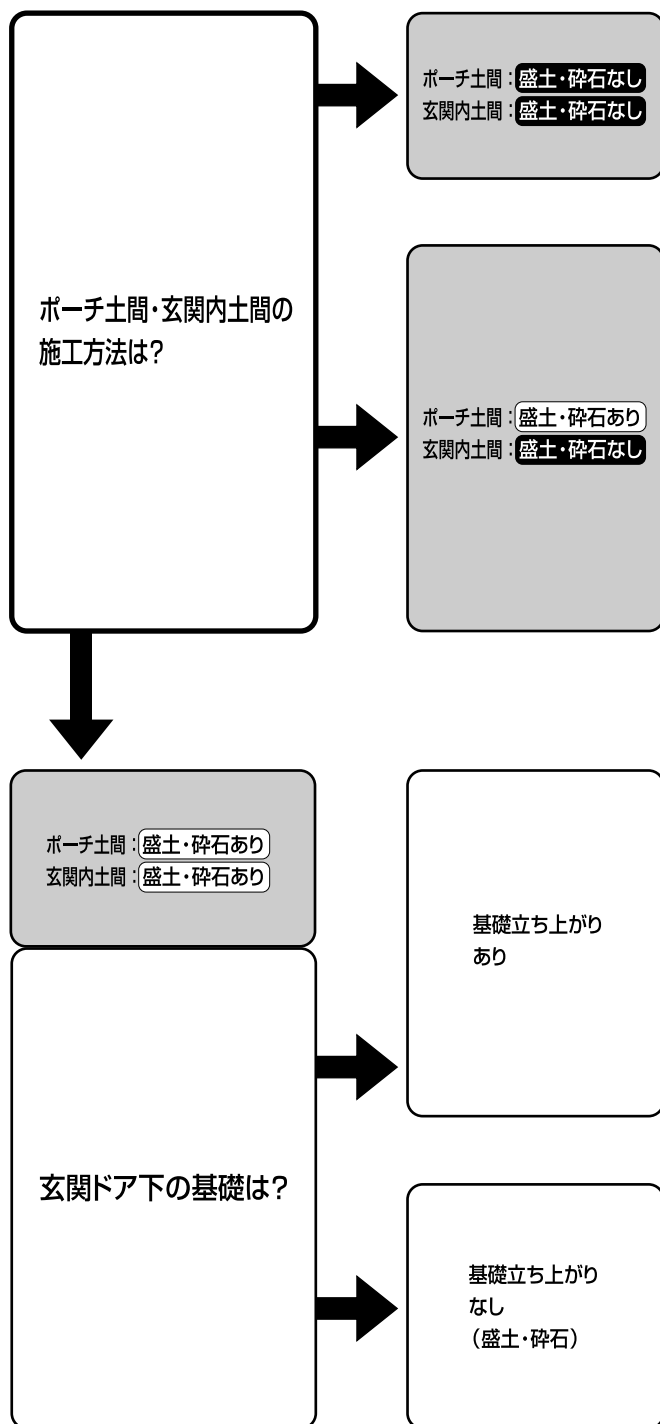
### 基礎立ち上がり部の打設方法は？

# Bタイプ



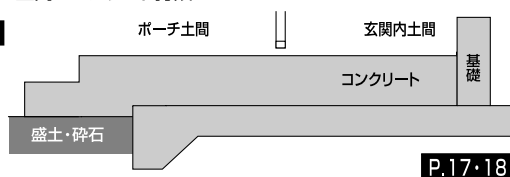
- 防蟻処理必要部位例 ..... P.4
- 土台パッキン シロアリ保証制度 部材一覧 ..... P.5
- 基本施工要領①ーアリダンA剤ホワイトⅡW ..... P.6
- 基本施工要領②ーアリダンコーキング ..... P.7
- 基本施工要領③ー配管周り・水抜き孔部の防蟻施工 ..... P.8

#### ●基礎底盤・立ち上がり分離打ち



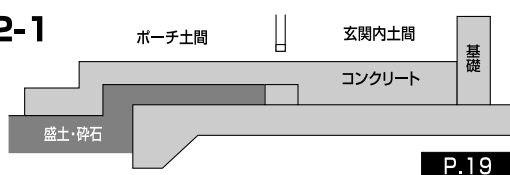
#### ●一体で土間コンクリート打設

### B-1



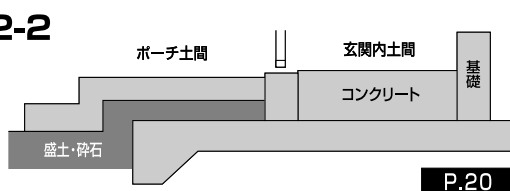
#### ●一体で土間コンクリート打設

### B-2-1



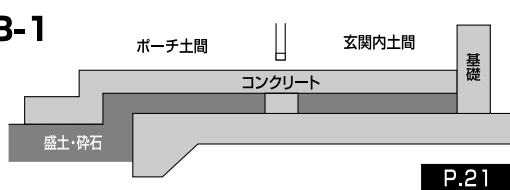
#### ●分離して土間コンクリート打設

### B-2-2



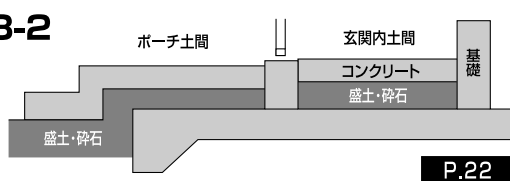
#### ●一体で土間コンクリート打設

### B-3-1



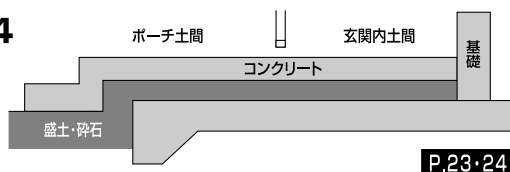
#### ●分離して土間コンクリート打設

### B-3-2

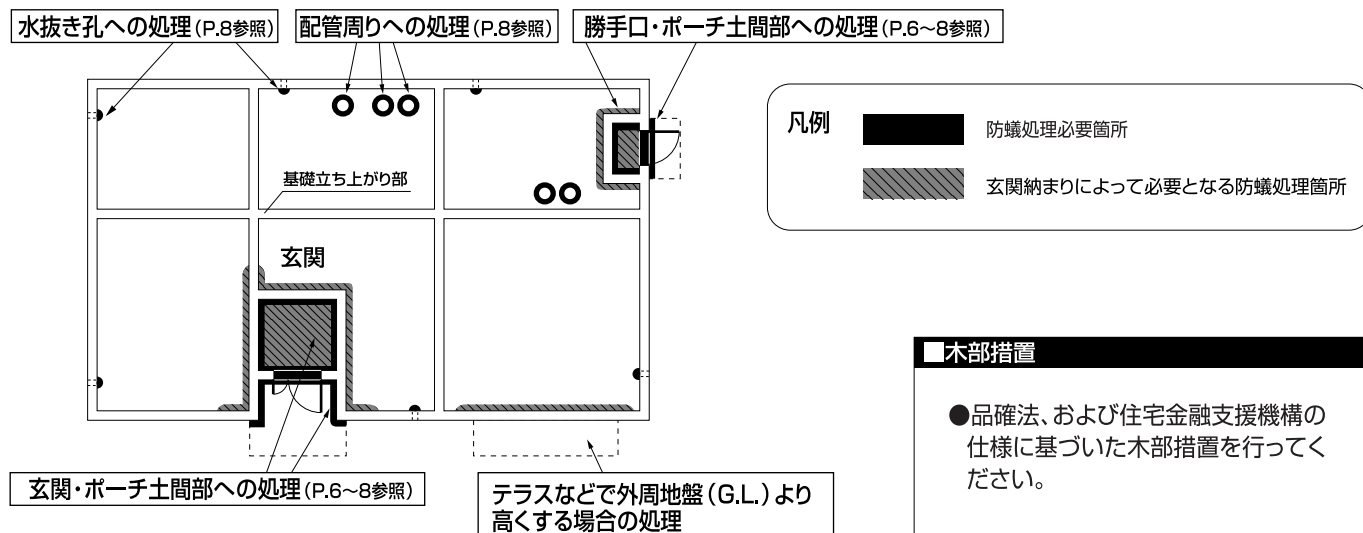


#### ●一体で土間コンクリート打設

### B-4



## 防蟻処理必要部位例



■必要な木部措置（土台パッキン シロアリ保証制度適用条件） ※品確法（等級2以上）もしくは住宅金融支援機構（フラット35融資以上）の要件を満たすこと。

■品確法（等級2）および住宅金融支援機構（フラット35融資）要件

| 処理箇所    |                                                                       | 措置                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 土台      | 土台<br>[右のイ、ロのいずれかの措置]                                                 | イ) ひのき、ひば、米ひのき、米ひば、栗、けやき、米杉、台湾ひのき、こうやまき、さわら、ねすこ、いちい、かや、ウエスタンレッドシーダー、インセンスシーダ又はセンベルセコイヤ<br>ロ) 保存処理区分K3相当以上の防腐・防蟻処理材<br>土台に接する外壁の下端には水切りを設ける。                                                                                                                                                                                                                    |
|         | 外壁の軸組<br>(地面からの高さ1m以内)<br>※土台を除く<br>※室内側に露出した部分を除く<br>[右のイ～ホのいずれかの措置] | イ) ひのき、ひば、米ひのき、米ひば、栗、けやき、杉、米杉、台湾ひのき、こうやまき、さわら、ねすこ、いちい、かや、くぬぎ、みずなら、からまつ、米松（ダグラスファー）、ダフリカからまつ、ウエスタンレッドシーダー、アビトン、ウエスタンラーチ、カプル、ケンパス、セランガンバツ、タマラック、パシフィックコーストイエローシーダー、サイプレスバイン、ボンゴシ、イペ、ジャラ、インセンスシーダ又はセンベルセコイヤ<br>ロ) 外壁内に通気層、壁体内通気可能構造<br>ハ) 外壁材板張り、直接通気可能構造<br>ニ) 軒出 90cm以上、柱が外気に接する構造（真壁構造）<br>ホ) 断面寸法 120mm×120mm以上<br>ヘ) (1) 工場で処理（加圧注入処理など）<br>(2) 現場で塗布、吹付け、浸漬 |
| 土台以外の木部 | 外壁の木質系下地<br>(地面からの高さ1m以内)<br>※室内側に露出した部分を除く<br>[右のイ～ホのいずれかの措置]        | イ) ひのき、ひば、米ひのき、米ひば、栗、けやき、杉、米杉、くぬぎ、みずなら、からまつ、米松（ダグラスファー）、ダフリカからまつ、アビトン、カプル、ケンパス、セランガンバツ ※フラット35は規定なし<br>ロ) 外壁内に通気層、壁体内通気可能構造<br>ハ) 外壁材板張、直接通気可能構造<br>ニ) 軒出 90cm以上、柱が外気に接する構造（真壁構造）<br>ホ) (1) 工場で処理（加圧注入処理など）<br>(2) 現場で塗布、吹付け、浸漬                                                                                                                                |
|         |                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

## 土台パッキン シロアリ保証制度 部材一覧

| 部材名                                 | 形 態                                    | 材 質〈用 途〉                                                                                              |
|-------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 玄関・配管用防蟻キット                         | ●SH1500 ※A<br>●3SH600 ※B<br>●アリダンA剤 ※C | アリダンコーキング SH1500 (1500g) 2個 (予備ノズル 1個)<br>アリダンコーキング 3SH600 (600g) 1個 ※高粘度タイプ<br>アリダンA剤ホワイトⅡW (10ℓ) 1缶 |
| アリダンコーキングセット                        | ●SH1500 ※A<br>●3SH600 ※B               | アリダンコーキング SH1500 (1500g) 2個 (予備ノズル 1個)<br>アリダンコーキング 3SH600 (600g) 1個 ※高粘度タイプ                          |
| アリダンコーキング SH1500<br>(SH1500が不足する場合) | ●SH1500 ※A                             | アリダンコーキング SH1500 (1500g) 10個 ※バラ出荷対応可                                                                 |
| アリダンコーキング 3SH600<br>(3SH600が不足する場合) | ●3SH600 ※B                             | アリダンコーキング 3SH600 (600g) 10個 ※バラ出荷対応可                                                                  |
| アリダンA剤ホワイトⅡW<br>(アリダンA剤が不足する場合)     | ●アリダンA剤 ※C                             | アリダンA剤ホワイトⅡW (10ℓ) 1缶                                                                                 |

【部材施工目安】※A. 玄関・ポーチ土間内周、配管周り、勝手口土間内周 (200g以上/m) ※B. 横配管 (200g以上/m)、水抜き孔 (50g以上/箇所)  
 ※C. 玄関 (勝手口)・ポーチ土間 (400ml以上/m)、玄関内 (勝手口) 内土間面 (2ℓ以上/m<sup>2</sup>)、基礎立上がり床下側 (200ml以上/m)

### 玄関・配管用防蟻キット施工範囲 (目安)

玄関・配管用防蟻キット: 1セット  
 (アリダンA剤ホワイトⅡW: 1缶  
 アリダンコーキング セット: 1セット)

現場調達品

ジョウロ



※基礎底盤と基礎立ち上りを分離打設した物件  
 ※玄関内土間・ポーチ土間: 各約1坪  
 勝手口ポーチ: 1箇所  
 配管本数: 6～8本  
 水抜き孔数: 8～10箇所

※上記の施工範囲 (目安) を超える場合は、別売の  
 ●アリダンコーキング SH1500 (単品)  
 ●アリダンコーキング 3SH600 (単品)  
 ●アリダンA剤ホワイトⅡW (単品) を使用します。

### アリダン コーキングセット施工範囲 (目安)

アリダンコーキングセット: 1セット  
 (アリダンコーキング SH1500: 2個  
 アリダンコーキング 3SH600: 1個)

※基礎底盤と基礎立ち上りを分離打設した物件  
 ※玄関内土間・ポーチ土間: 各約1坪  
 勝手口ポーチ: 1箇所  
 配管本数: 6～8本  
 水抜き孔数: 8～10箇所

※上記の施工範囲 (目安) を超える場合は、別売の  
 ●アリダンコーキング SH1500 (単品)  
 ●アリダンコーキング 3SH600 (単品) を使用します。

### 必要工具・材料類

- 作業衣、マスク、作業用手袋
- ほうき、チリトリ (施工部の掃除)
- 金づち、ペンチ (型枠固定金具の取り除き)
- ジョウロ (アリダンA剤ホワイトⅡW土壌面散布用)
- 発泡材、布切れ (アリダンコーキングの隙間への施工時に使用)
- はさみ、カッター (コーキング剤ノズル先端のカット・配管断熱材カット用など)
- ゴミ袋

### ⚠ 注意 防蟻施工に際しての注意事項

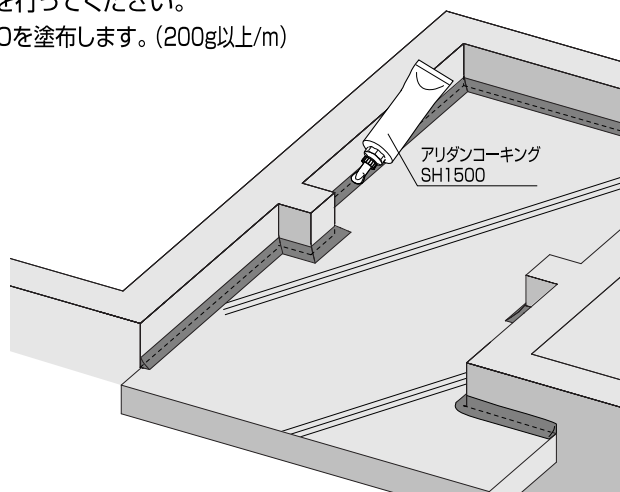
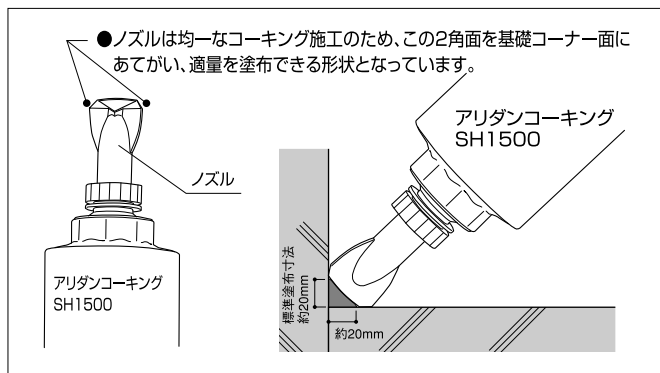
- 防蟻材料の性質、使用方法、注意事項等を熟知し、安全で確実な施工をしてください。
- 用法・用量を遵守し、他剤との混合や加熱はしないでください。
- アレルギー体質の人や、当日体調の悪い人は、作業を控えてください。
- できるだけ防蟻材料に触れないようにするために、長袖衣、手袋、作業帽子、作業靴、マスクを着用してください。
- 塗装面や化粧材・家具・敷物・植木等に付着しないよう注意してください。
- 環境を汚染しないよう乱用は避けてください。池や河川・井戸・下水道等への水系へは流さないでください。
- 誤って口に入った場合は、直ちに吐き出し、水で口をすすいで、医師の診断を受けてください。
- 誤って目に入った場合は、直ちに水で洗眼し、目薬をさして、医師の診断を受けてください。



## ■基本施工要領②ーアリダンコーキング

### ■土間コンクリート打設後の防蟻処理(アリダンコーキング)

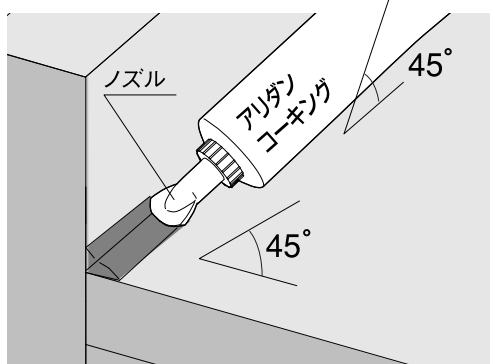
- 施工前に塗布部のゴミ、ホコリを取り除き、乾燥した状態で施工を行ってください。
- 基礎と土間コンクリートとの打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500を塗布します。(200g以上/m)



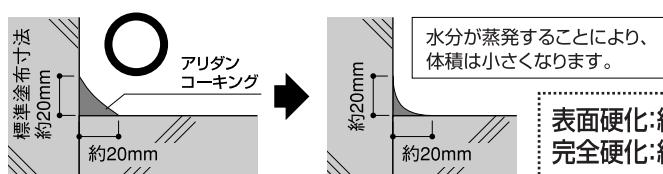
### ■アリダンコーキングの施工方法

ノズルを施工面にあてがい45°傾け、さらに塗布方向に45°倒して、チューブ(容器)を手で絞りながら、ゆっくり塗布していきます。

※標準塗布量は1mあたり200g以上とします。



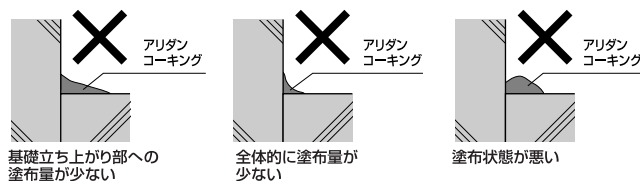
### ■アリダンコーキングの施工後の変化



表面硬化:約6時間  
完全硬化:約1週間

### ⚠注意 アリダンコーキングの施工に際しての注意事項

●下図のような状態にならないように隙間なく適量を塗布してください。



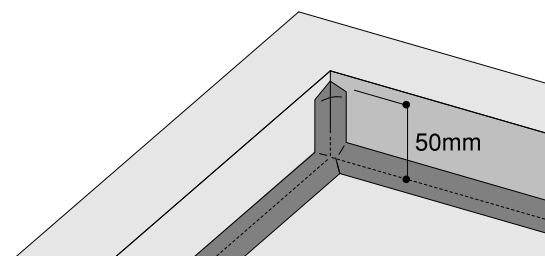
### ■アリダンコーキングの入隅部の施工

●入隅部は垂直方向にも約50mm立ち上げ塗布します。

※納まり関係上困難な場合は、塗布を避けても可。

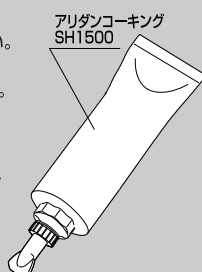
●また、入隅部は施工のしづらい箇所ですので、入念に確実な施工をしてください。

※入隅部はシロアリが最も侵入しやすい所です。



### ⚠注意 アリダンコーキングの施工に際しての注意事項

- 必ず施工面を清掃してください。
- 塗布面のゴミ、ホコリを刷毛(ブラシ)等を取り除いてください。
- 塗布面が濡れている場合は、乾燥してから施工してください。
- 玄関ポーチ部への施工の際はひさし施工後に行ってください。
- 塗布忘れがないようにしてください。
- 塗布の隙間がないようにしてください。
- 塗布量にムラがないようにしてください。
- 塗布時、塗布後に気泡を発見した場合、気泡をつぶし、アリダンコーキングを再塗布してください。
- 容器内の本剤は、最後まで搾り出して使い切ってください。
- 製造日より1年以内に使用してください。



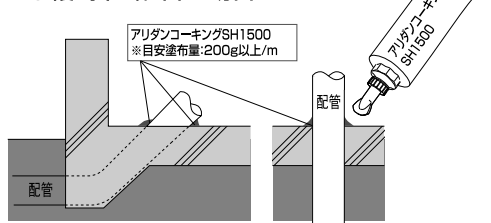
### ⚠注意 アリダンコーキングの施工後の注意事項

- アリダンコーキングの乾燥には時間がかかります。踏み荒らさないようにしてください。
- また、万一踏み荒らした場合は再度塗布補修してください。
- 本剤が乾燥硬化するまでは、雨にあたらないようにしてください。
- コーキング剤が残った場合は空気を抜いて中栓をし、本剤を乾燥硬化させないように3ヶ月以内に使用してください。
- 空き容器は決して他目的に使用したり野外放棄せず、産業廃棄物として専門の処理業者による処理をしてください。
- 保管は直射日光を避け(5~35℃)、幼児の手の届かないところで行ってください。

## ■基本施工要領③ー配管周り・水抜き孔部の防蟻施工

### ■配管周りの防蟻処理

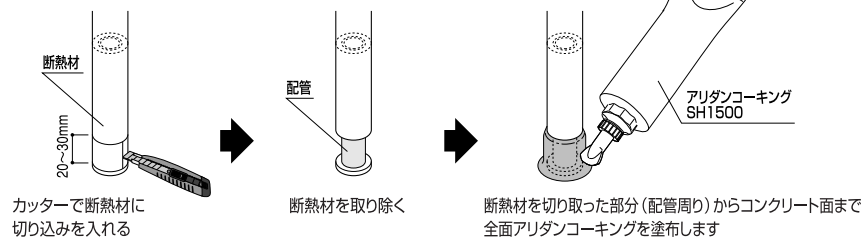
#### ●縦・斜め配管の場合



#### ●横配管の場合

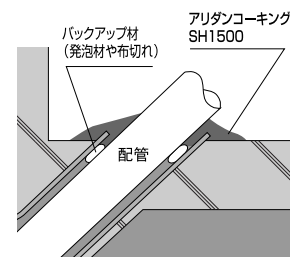


#### ●断熱配管の防蟻処理（断熱材の巻かれた配管）



#### ■二重配管の場合

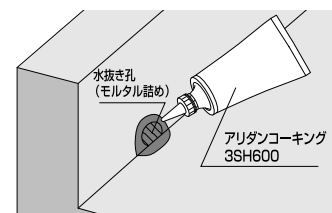
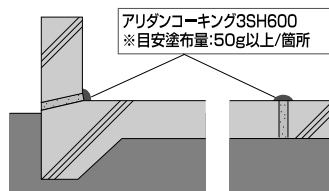
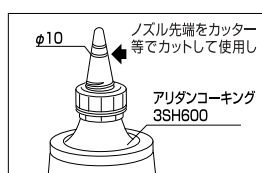
●斜め配管で、二重配管としていた場合は、配管同士のすき間にバックアップ材（発泡材や布切れ）を詰め、その上にアリダンコーキングSH1500を施工し、さらに配管周囲を隙間のないように盛り施工します。



### ■水抜き孔部の防蟻処理

- 水抜き孔は、モルタルもしくはバックアップ材（発泡材や布系）を詰め、隙間のないように処理を行ってください。
- 水抜き孔全体を覆うようにアリダンコーキング3SH600を塗布します。

※目安塗布量:50g以上/箇所



## ■基本施工要領④ーテラス・犬走り・勝手口など外周地盤（G.L.）より高くする箇所

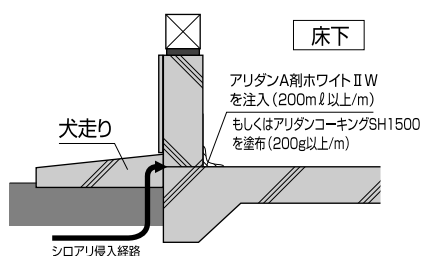
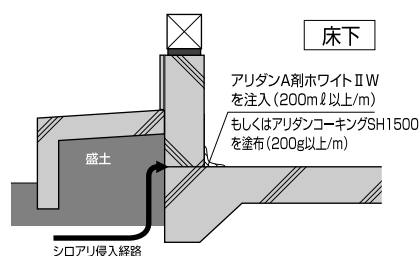
### ■テラス・犬走りなどで外周地盤（G.L.）より盛土する場合の防蟻処理

- 基礎底盤と基礎立ち上がりを分離して打設する基礎形態において、基礎外側にテラスや踏み台等を設ける際に盛土をする場合や犬走りを設ける場合は基礎打ち継ぎ部（床下側）にアリダンA剤ホワイトⅡW（200m $\ell$ 以上/m）もしくはアリダンコーキングSH1500（200g以上/m）を施工してください。

※施工要領に関しては玄関・勝手口部と同様です。

※型枠固定金具がある場合は取り除き、特に入念に処理を行ってください。

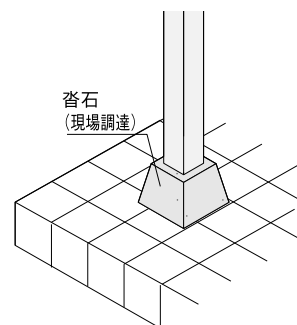
※コンクリートはみ出し部分も全体を覆うように処理を行ってください。



### ■玄関ポーチ柱について

- ポーチ柱（木部）を沓石を用いるなどして、土間に直接接しないようにしてください。

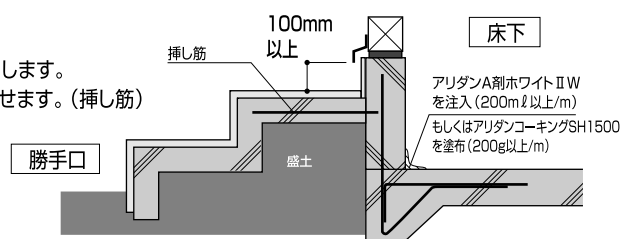
※ポーチ柱木部は、必要に応じて防蟻・防蟻処理を行ってください。



### ■勝手口土間の納まり（推奨）

勝手口土間は以下の納まりを推奨します。

- 土間（天端）は、水切りよりなるべく低く（100mm以上）します。
- 土間コンクリートは配筋（メッシュ）し、基礎と一体化させます。（挿し筋）



# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合①

使用部材  
●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600

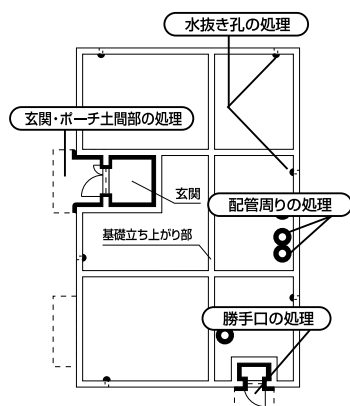


## A-1. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・碎石なし）」で一体で土間コンクリート打設する場合

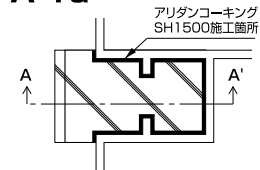
ポーチ側

コンクリート

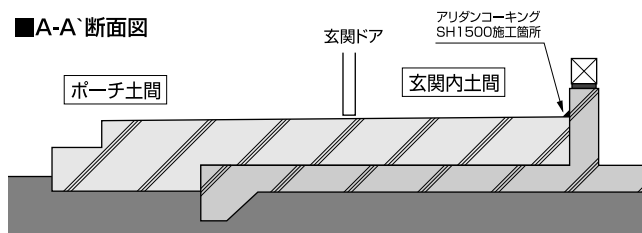
玄関側



A-1a



■A-A'断面図



### 凡例

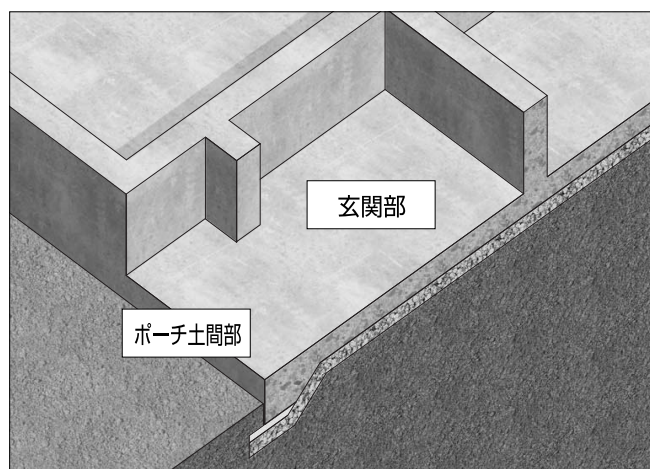
●— アリダンコーキング処理必要箇所



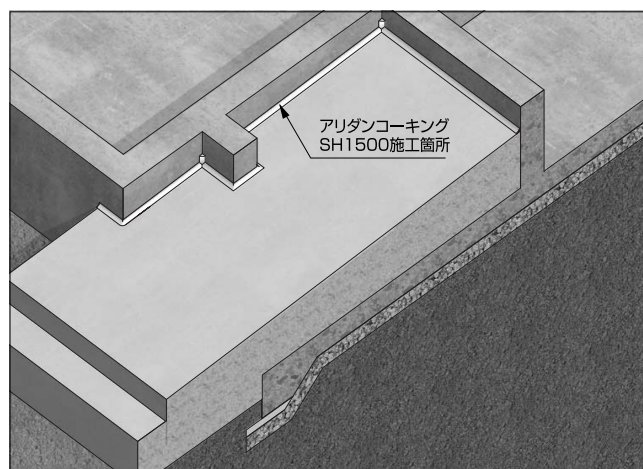
注意

●アリダンコーキングは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●アリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

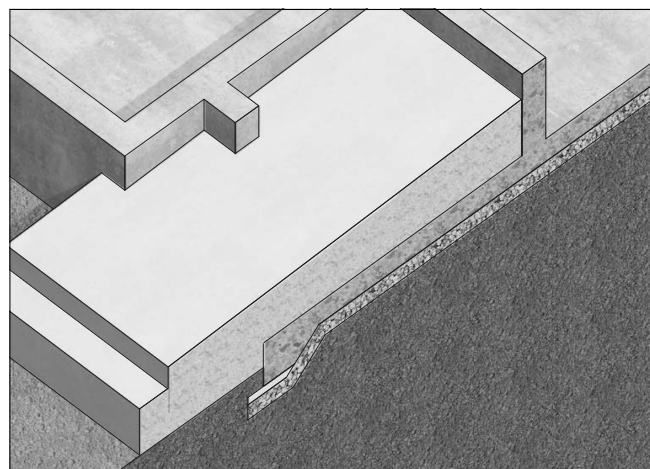
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



手順1. ●底盤上の木片やゴミを取り除きます。



手順3. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎのゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。（塗布量：200g以上/m）



手順2. ●土間コンクリートを打設します。

# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合②

使用部材

●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600

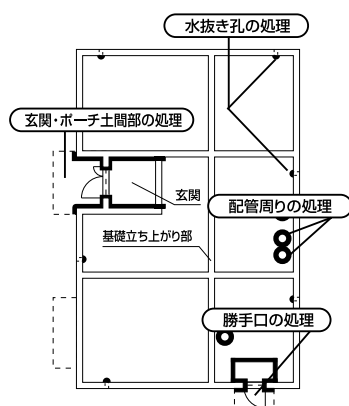


## A-1. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・砕石なし）」で 一体で土間コンクリート打設する場合

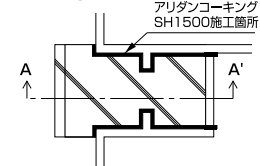
ポーチ側

コンクリート

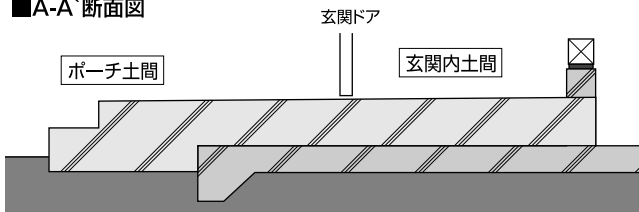
玄関側



A-1b



■A-A'断面図



凡例

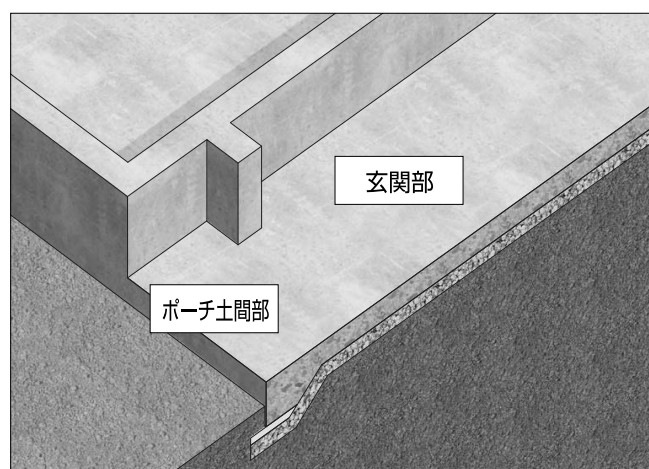
●—● アリダンコーキング処理必要箇所



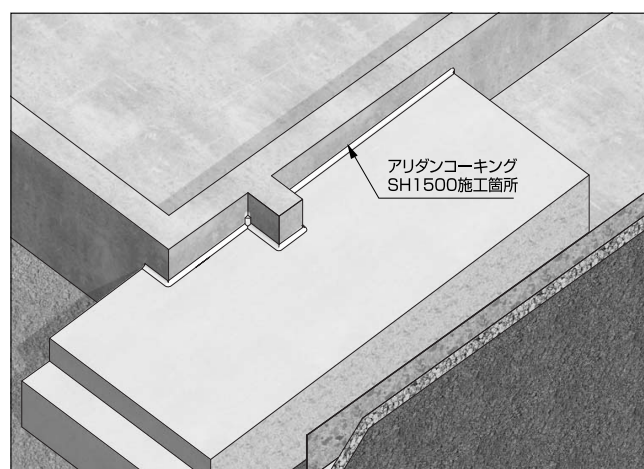
注意

●アリダンコーキングは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●アリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

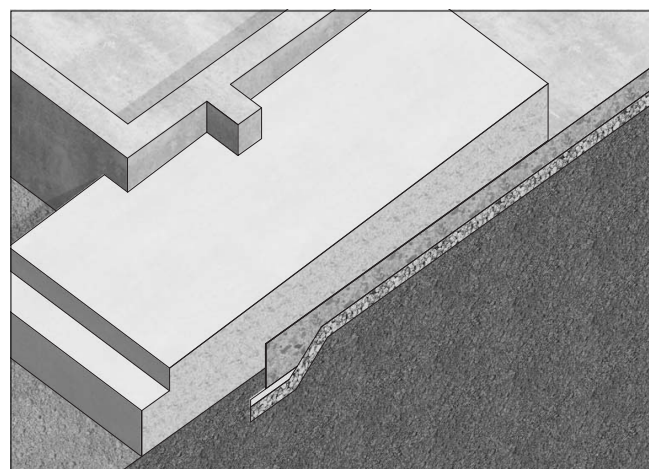
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



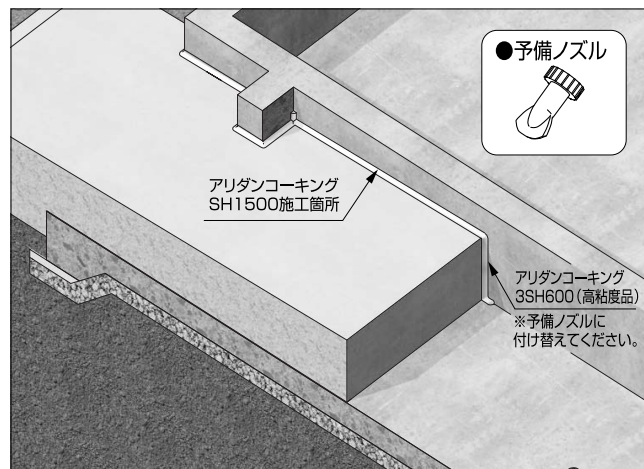
手順1. ●底盤上の木片やゴミを取り除きます。



手順3. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。（塗布量:200g以上/m）



手順2. ●土間コンクリートを打設します。



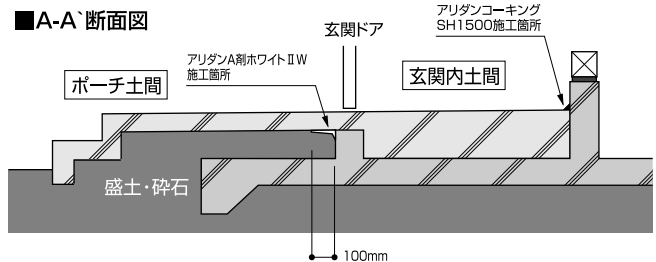
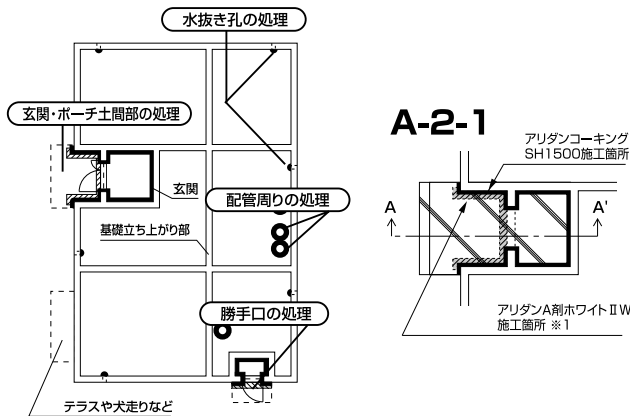
手順4. ●土間コンクリートと基礎立ち上がり打ち継ぎ部にアリダンコーキング3SH600を塗布します。（塗布量:200g以上/m）  
※予備ノズル（SH1500用ノズル）に付け替えてください。

# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合③

使用部材  
 ●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600 ●アリダンA剤 ホワイトIIW

## A-2-1. 「ポーチ土間(盛土・碎石あり)・玄関内土間(盛土・碎石なし)」で一体で土間コンクリート打設する場合

ポーチ側 盛土・碎石 コンクリート 玄関側



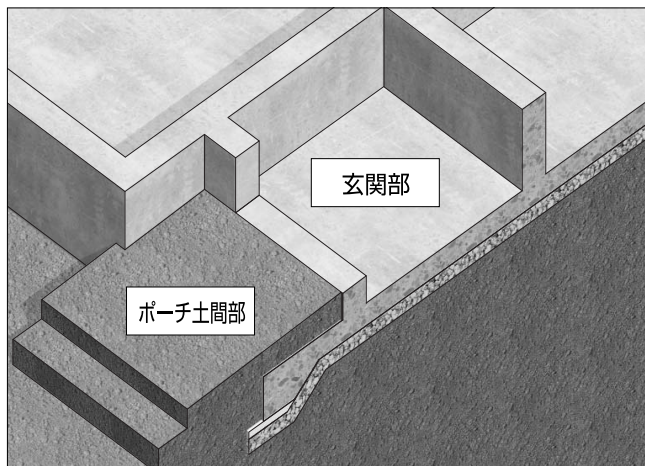
### 凡例

- アリダンコーキング処理必要箇所
- アリダンA剤ホワイトIIW処理必要箇所

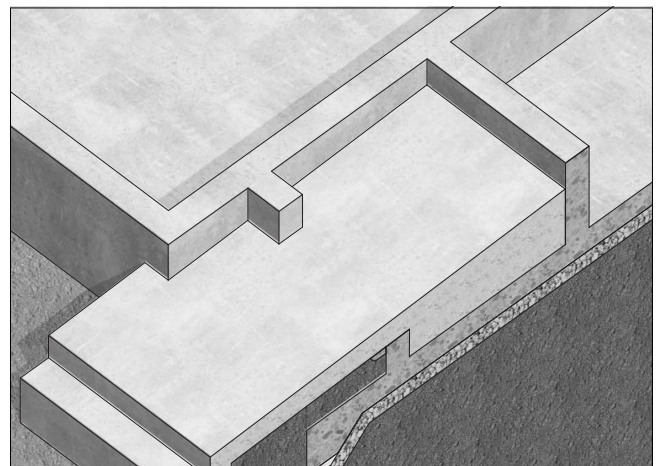


**注意** ●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトIIWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
 ●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

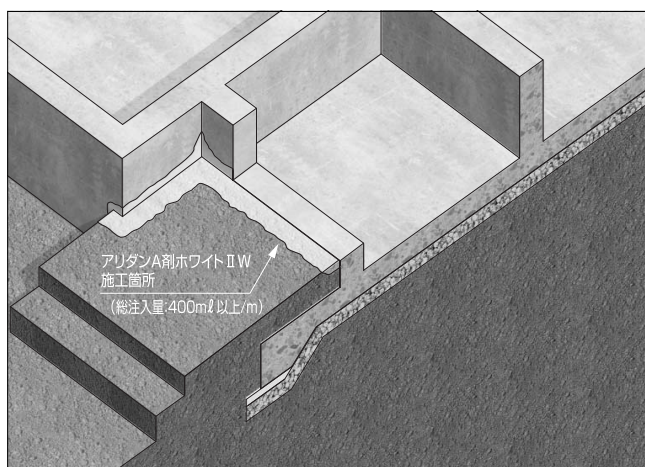
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



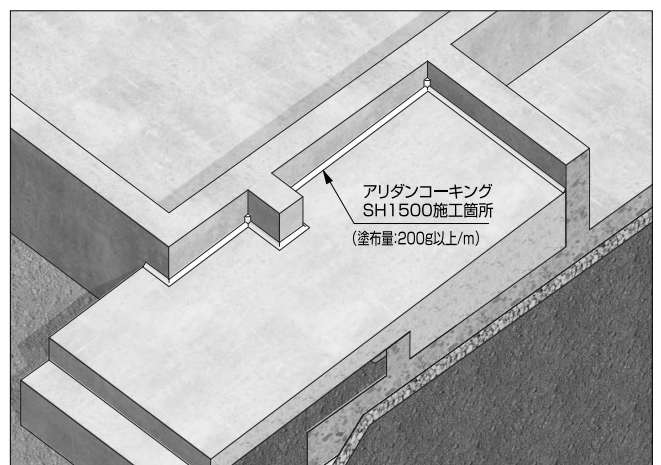
手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順3. ●土間コンクリートを打設します。



手順2. ●ポーチ部基礎際100mmにアリダンA剤ホワイトIIWを注入します。(総注入量:400ml以上/m)



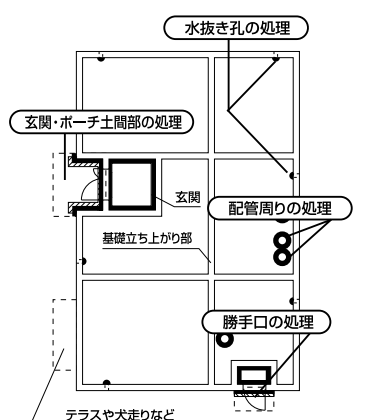
手順4. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎのゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合④

使用部材  
●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600 ●アリダンA剤 ホワイトⅡW

## A-2-2. 「ポーチ土間(盛土・碎石あり)・玄関内土間(盛土・碎石なし)」で分離して土間コンクリート打設する場合

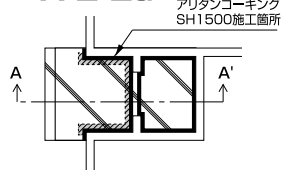
ポーチ側  
玄関側  
コンクリート  
盛土・碎石  
コンクリート



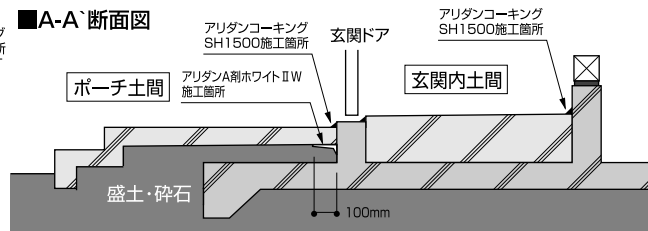
### 凡例

- アリダンコーキング処理必要箇所
- 斜線 アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所

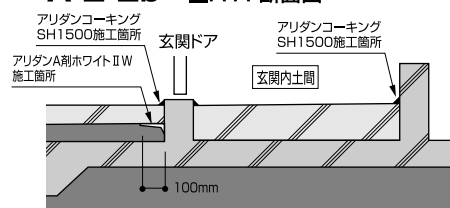
### A-2-2a



### ■A-A'断面図

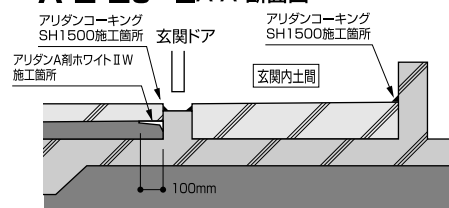


### A-2-2b



### ■A-A'断面図

### A-2-2c

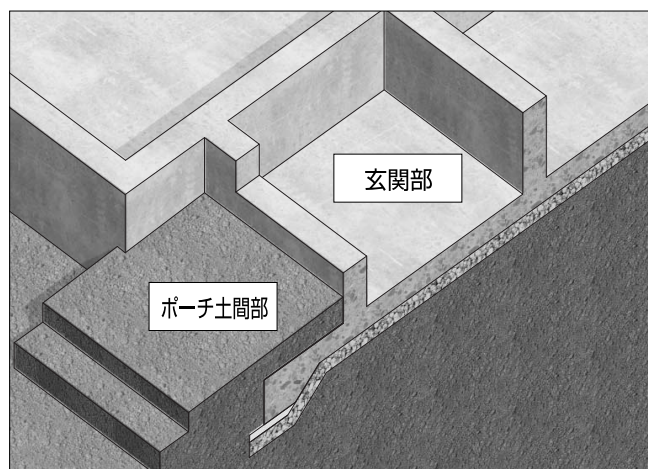


### ■A-A'断面図

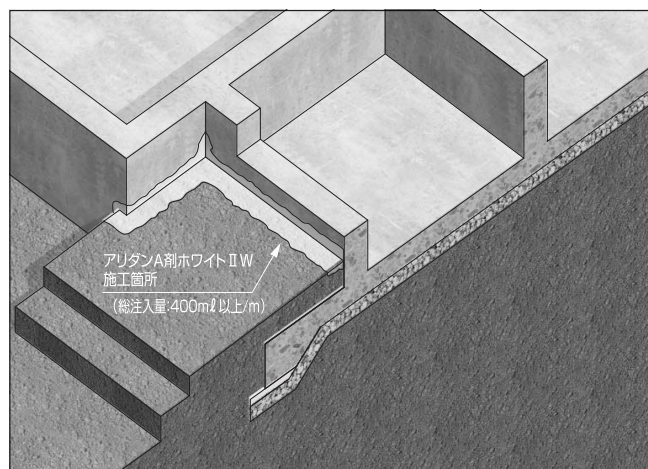


**注意** ●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

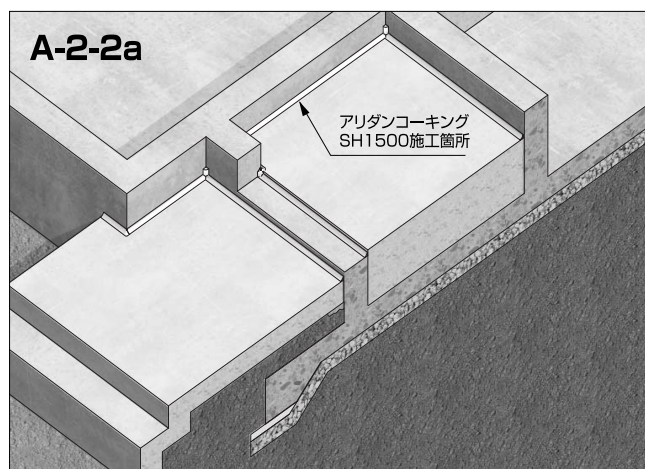
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



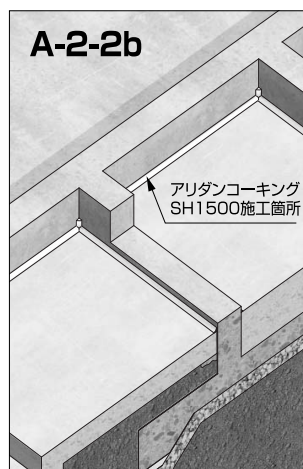
手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



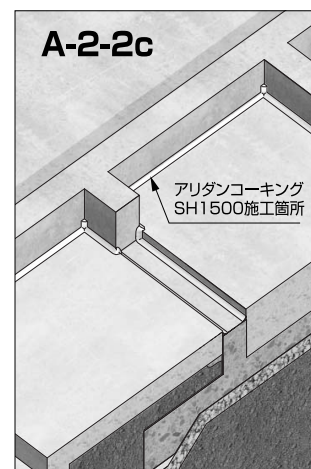
手順2. ●ポーチ部基礎際100mmにアリダンA剤ホワイトⅡWを注入します。  
(総注入量:400mℓ以上/m)



### A-2-2a



### A-2-2b



### A-2-2c

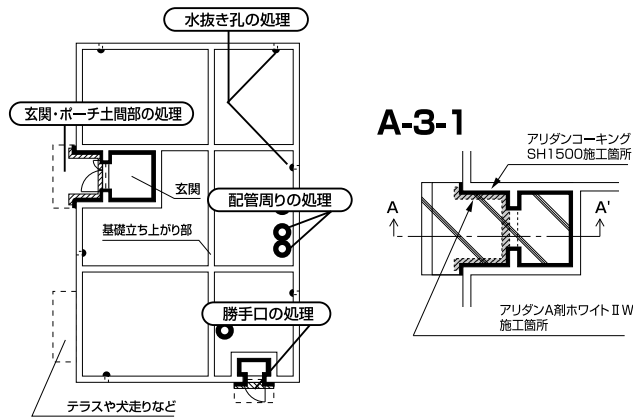
手順3. ●土間コンクリートを打設します。  
●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

# A. 基礎底盤・立ち上りを「一体でコンクリート打設」する場合⑤

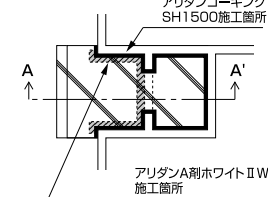
使用部材  
 ●アリダンコーキング SH1500  
 ●アリダンコーキング 3SH600  
 ●アリダンA剤 ホワイトⅡW

## A-3-1. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・砕石あり）」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりあり」で一体で土間コンクリート打設する場合

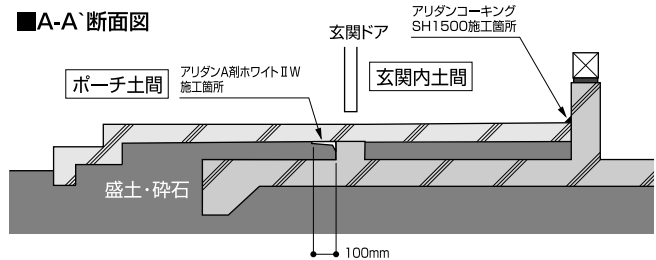
ポーチ側  
 コンクリート  
 盛土・砕石  
 盛土・砕石  
 玄関側



### A-3-1



### ■A-A'断面図



### 凡例

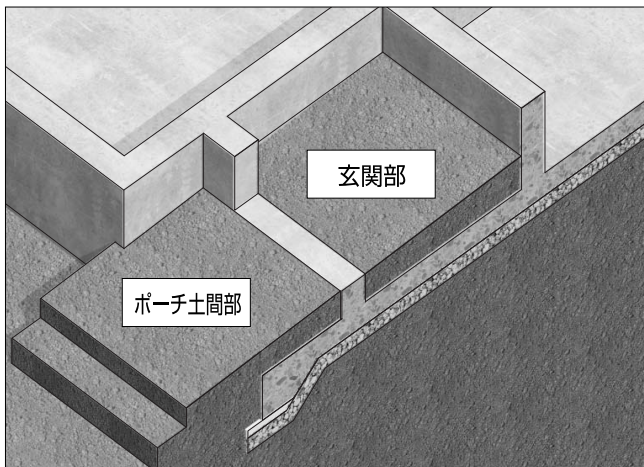
- アリダンコーキング処理必要箇所
- ▨ アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所



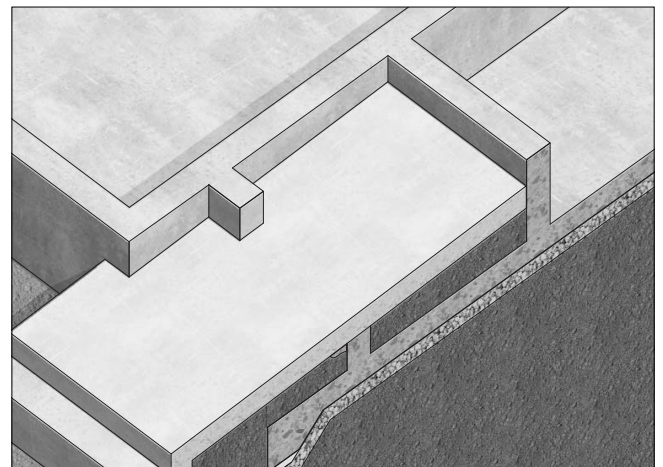
注意

- アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。
- 特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

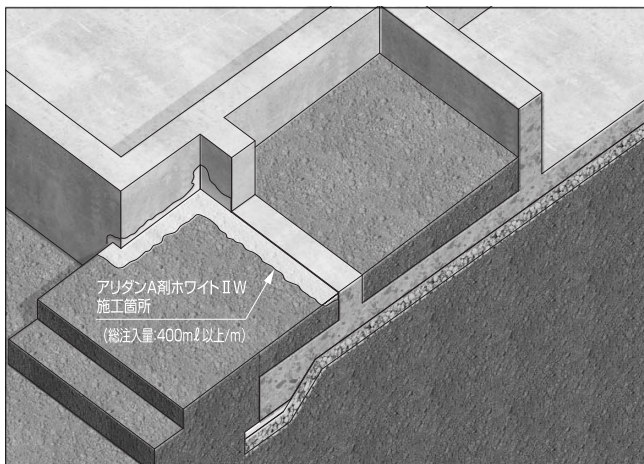
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



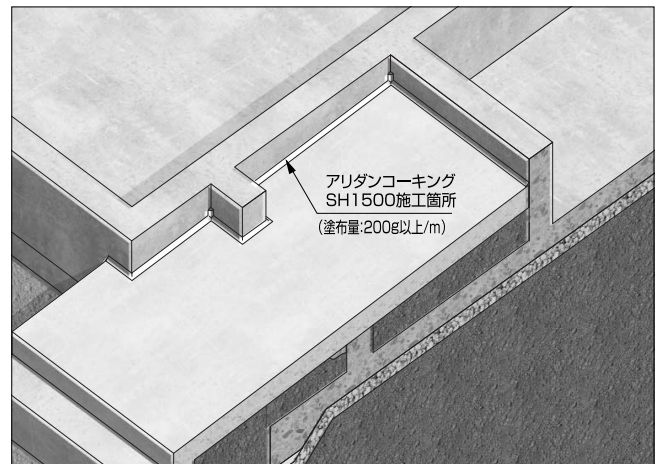
手順1. ●盛土・砕石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順3. ●土間コンクリートを打設します。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトⅡWを、ポーチ部基礎際100mmに注入（総注入量:400ml以上/m）します。



手順4. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎのゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。（塗布量:200g以上/m）

# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合⑥

使用部材

●アリダンコーキング  
SH1500

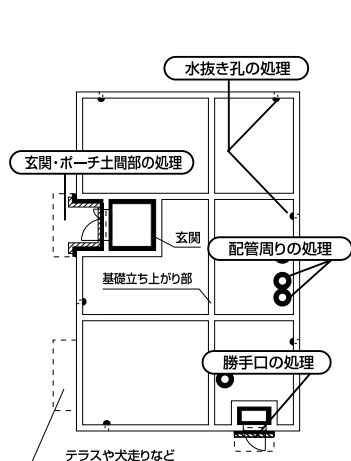
●アリダンコーキング  
3SH600

●アリダンA剤  
ホワイトIIW



## A-3-2. 「ポーチ土間・玄関内土間(ともに盛土・碎石あり)」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりあり」で分離して土間コンクリート打設する場合

| ポーチ側 | コンクリート<br>盛土・碎石 | コンクリート<br>盛土・碎石 | 玄関側 |
|------|-----------------|-----------------|-----|
|------|-----------------|-----------------|-----|



凡例

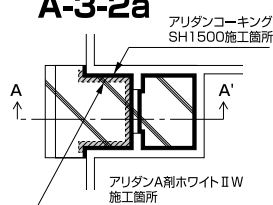


アリダンコーキング処理必要箇所

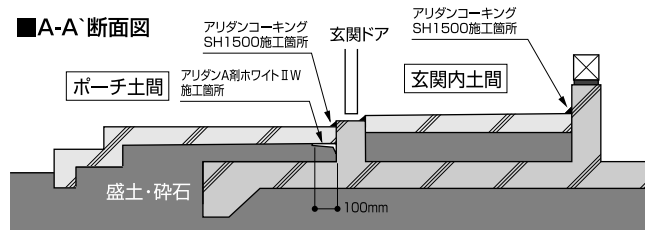


アリダンA剤ホワイトIIW処理必要箇所

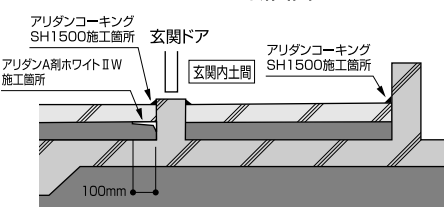
### A-3-2a



### ■A-A' 断面図

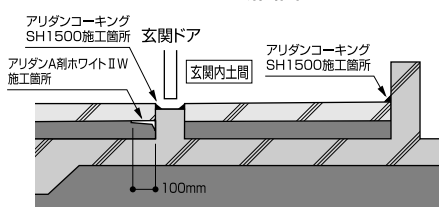


### A-3-2b



### ■A-A' 断面図

### A-3-2c



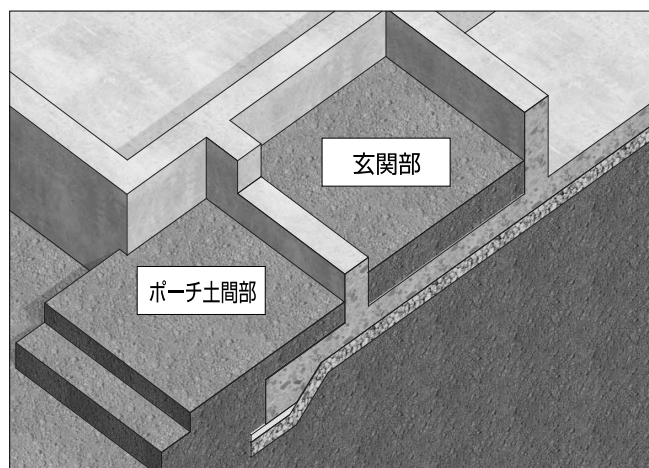
### ■A-A' 断面図



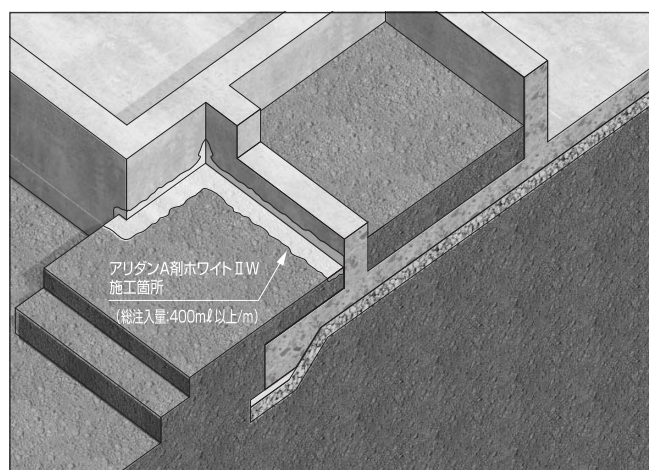
注意

●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトIIWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

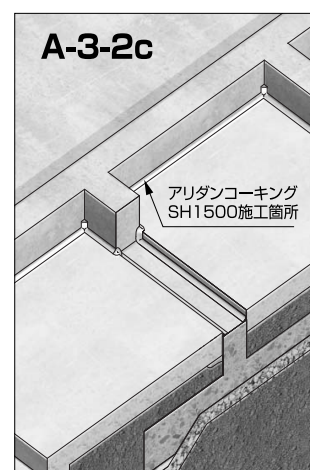
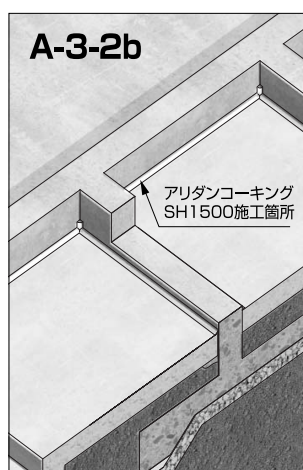
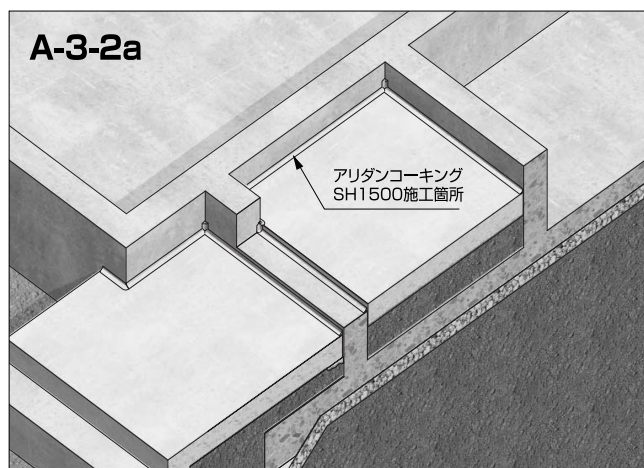
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトIIWを、ポーチ部基礎際100mmに注入(総注入量:400mℓ以上/m)します。



手順3. ●土間コンクリートを打設します。  
●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合⑦

使用部材

●アリダンコーキング SH1500

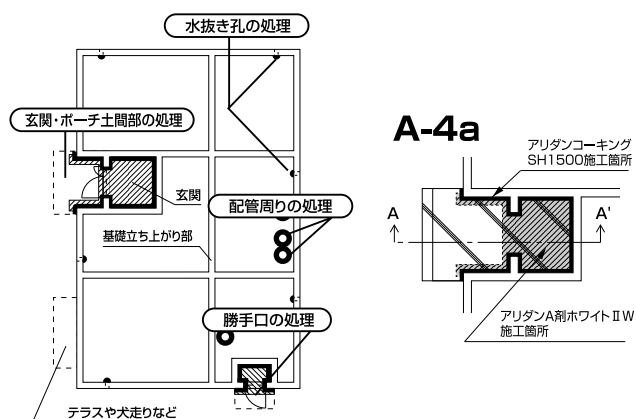
●アリダンコーキング 3SH600

●アリダンA剤 ホワイトⅡW

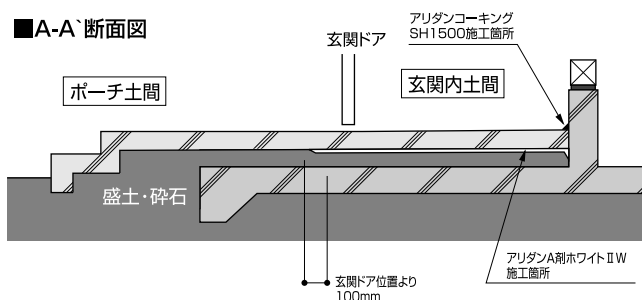


## A-4. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・砕石あり）」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりなし」で一体で土間コンクリート打設する場合

| ポーチ側   | 玄関側   |
|--------|-------|
| コンクリート | 盛土・砕石 |



■A-A'断面図



### 凡例

●— アリダンコーキング処理必要箇所

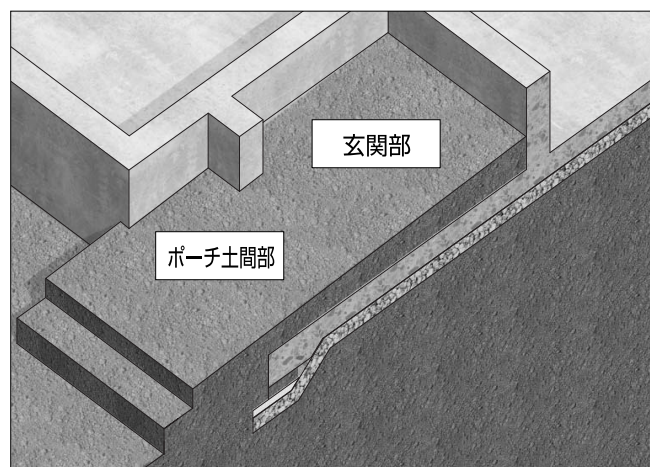
▨ アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所



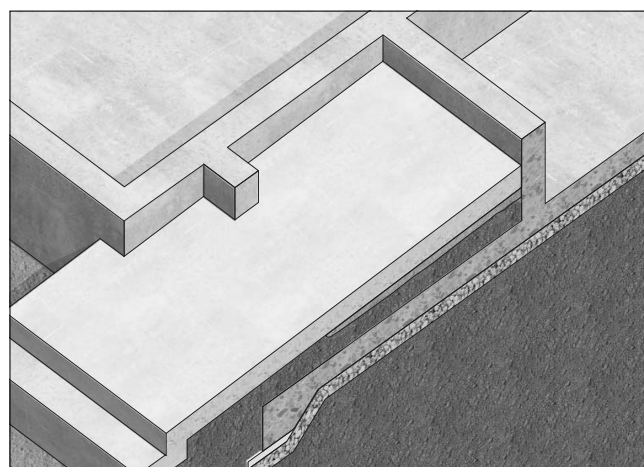
注意

●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

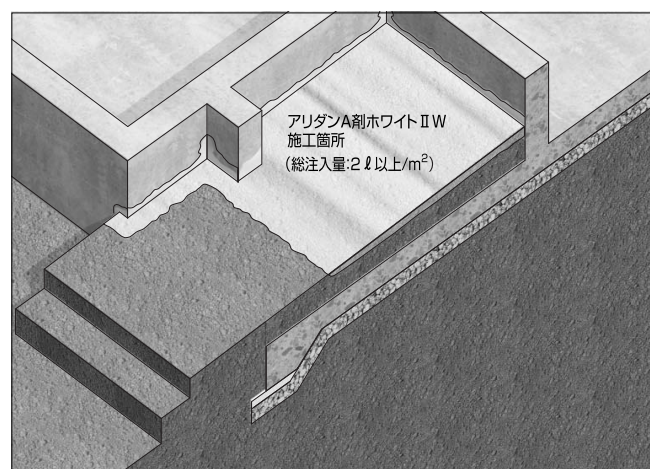
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



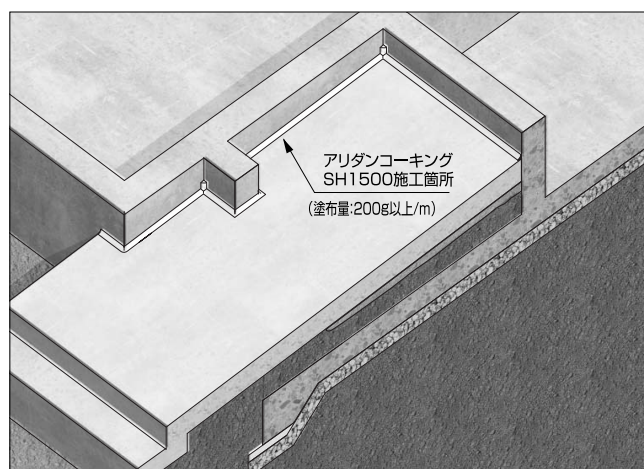
手順1. ●盛土・砕石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順3. ●土間コンクリートを玄関内土間からポーチ土間にかけて連続して打設します。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトⅡWを、玄関・ポーチ部基礎際に注入(注入量:200ml以上/m)した後、玄関内土間からポーチ土間100mm出まで全面にムラなく注入(注入量:1.5ℓ以上/m²)します。(総注入量:2ℓ以上/m²)



手順4. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎのゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

# A. 基礎底盤・立ち上がりを「一体でコンクリート打設」する場合⑧

使用部材

●アリダンコーキング  
SH1500

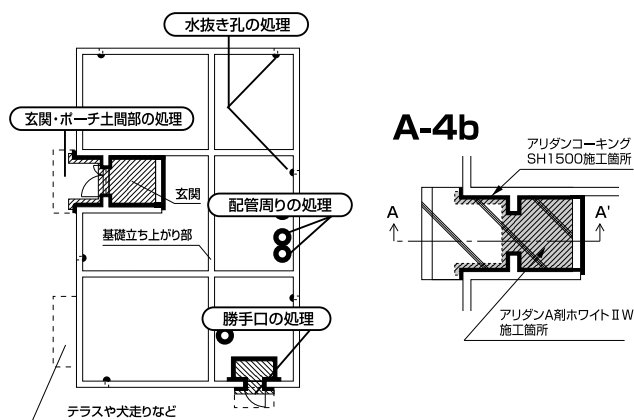
●アリダンコーキング  
3SH600

●アリダンA剤  
ホワイトⅡW

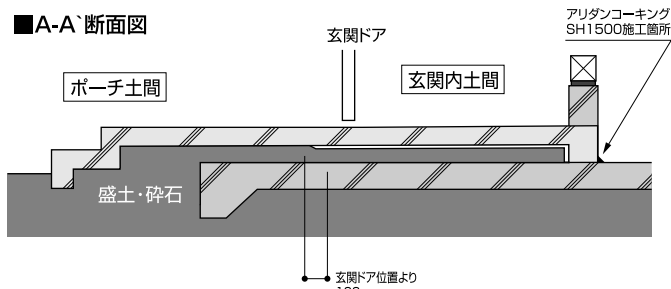


## A-4. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・碎石あり）」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりなし」で一体で土間コンクリート打設する場合

| ポーチ側   | 玄関側    |
|--------|--------|
| コンクリート | コンクリート |
| 盛土・碎石  | 盛土・碎石  |



■A-A'断面図



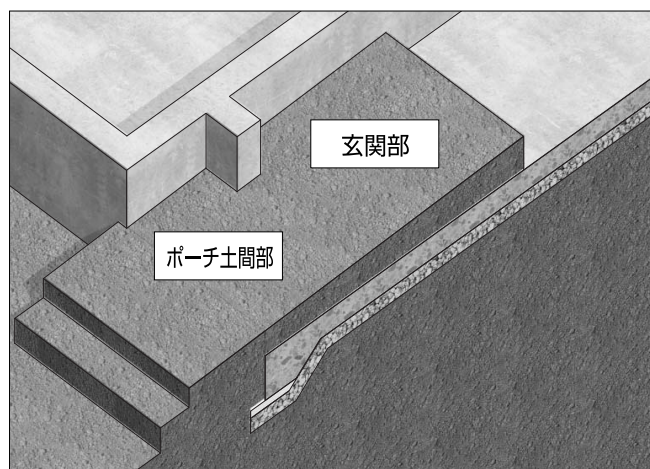
### 凡例

- アリダンコーキング処理必要箇所
- アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所

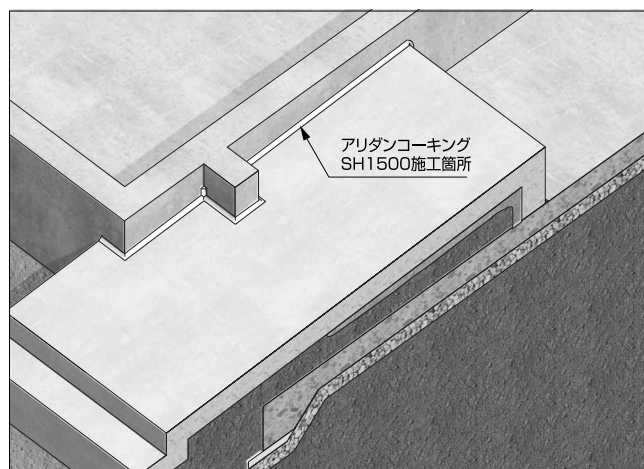


**注意** ●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

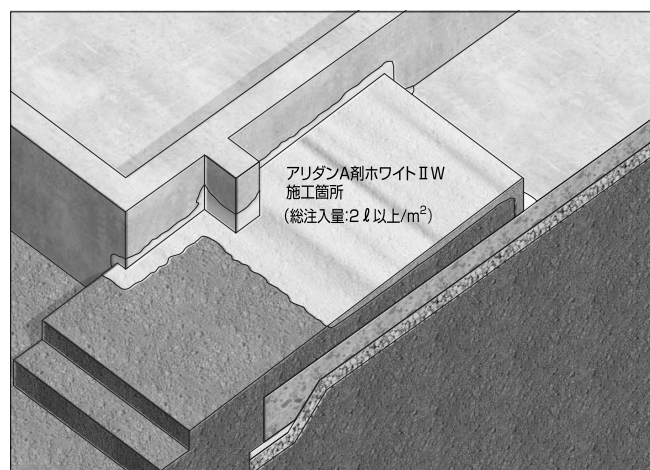
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



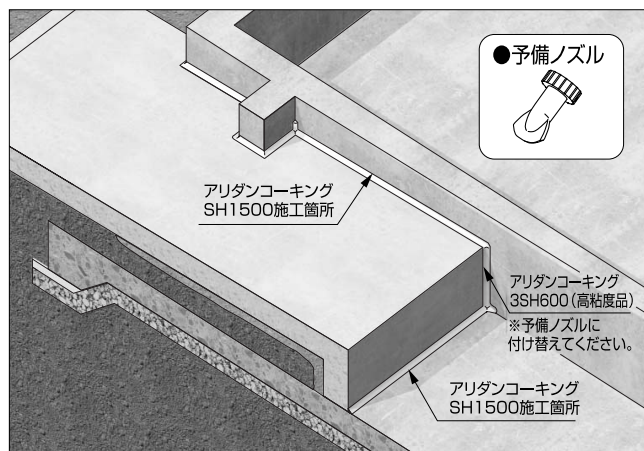
手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順3. ●土間コンクリート打設後、基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/㎡)



手順2. ●アリダンA剤ホワイトⅡWを、玄関・ポーチ部基礎際に注入(注入量:200ml以上/㎡)した後、玄関内土間からポーチ土間100mm出まで全面にムラなく注入(注入量:1.5ℓ以上/㎡²)します。(総注入量:2ℓ以上/㎡²)



手順4. ●土間コンクリートと基礎底盤打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500を、基礎立ち上がりとの打ち継ぎ部にアリダンコーキング3SH600を塗布します。(塗布量:200g以上/㎡)  
※予備ノズル(SH1500用ノズル)に付け替えてください。

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合①

### 使用部材

- アリダンコーキング SH1500
- アリダンコーキング 3SH600

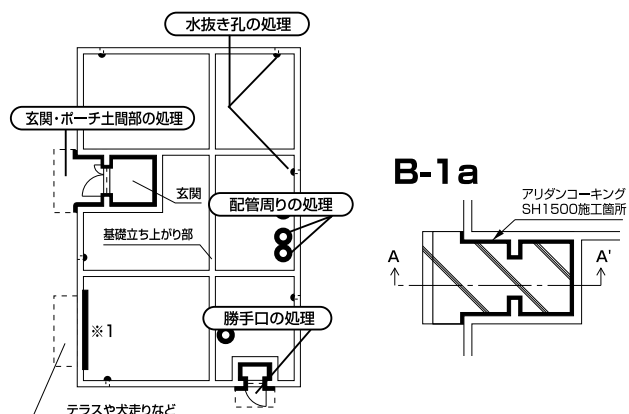


### B-1. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・砕石なし）」で 一体で土間コンクリート打設する場合

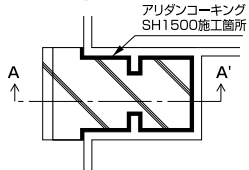
ポーチ側

コンクリート

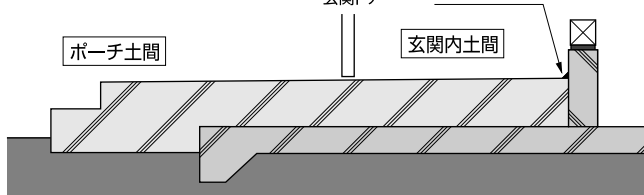
玄関側



B-1a



■A-A'断面図



### 凡例

- アリダンコーキング処理必要箇所

※1. 外周地盤（G.L.）より高い部分への処理

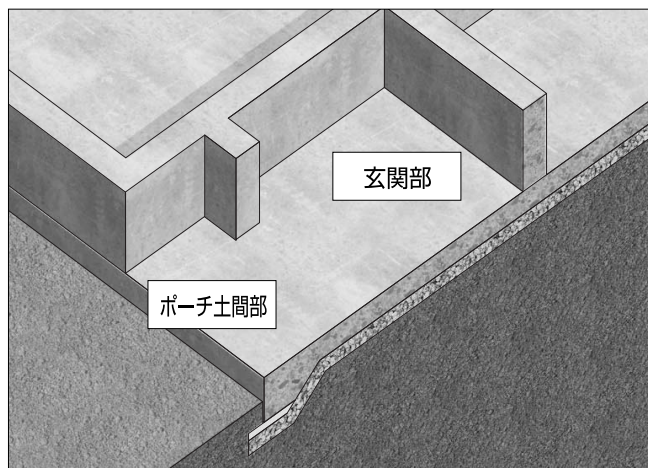
床下側の処理はアリダンA剤ホワイトⅡWでも可



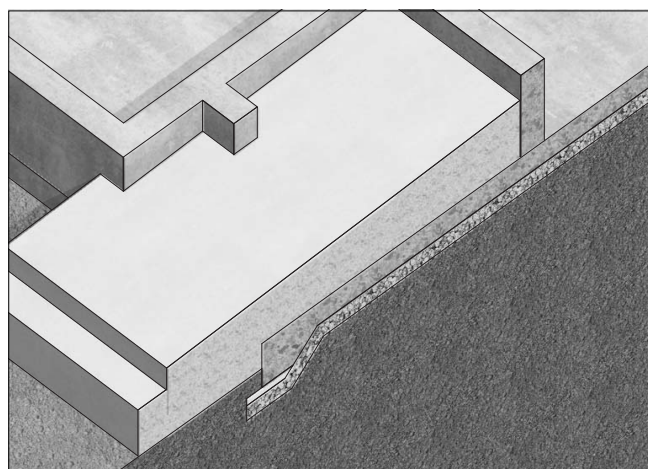
注意

- アリダンコーキングは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。
- アリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

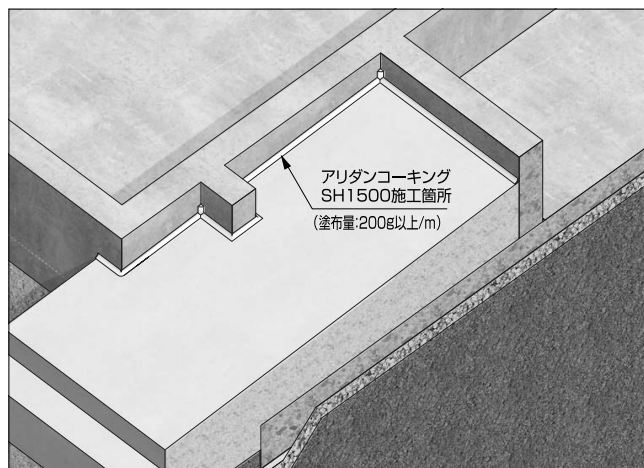
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



手順1. ●底盤上の木片やゴミを取り除きます。



手順2. ●土間コンクリートを打設します。



手順3. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎのゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。（塗布量:200g以上/m）

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合②

使用部材

●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600

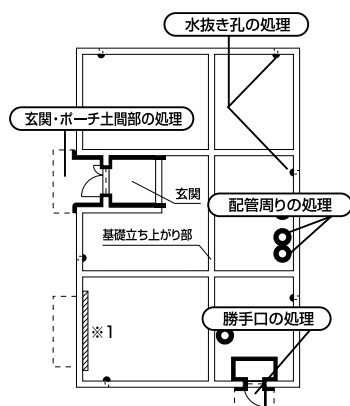


### B-1. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・碎石なし）」で 一体で土間コンクリート打設する場合

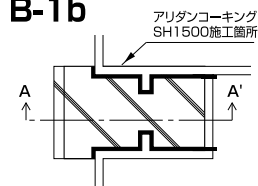
ポーチ側

コンクリート

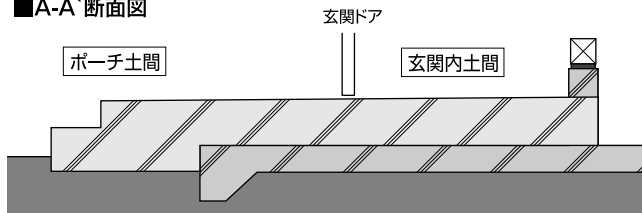
玄関側



B-1b



■A-A'断面図



凡例

●— アリダンコーキング処理必要箇所

※1. 外周地盤（G.L.）より高い部分への処理

床下側の処理はアリダンコーキングSH1500でも可

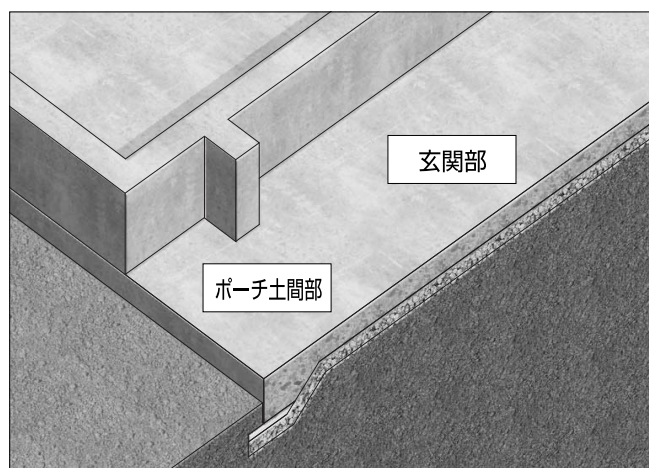


注意

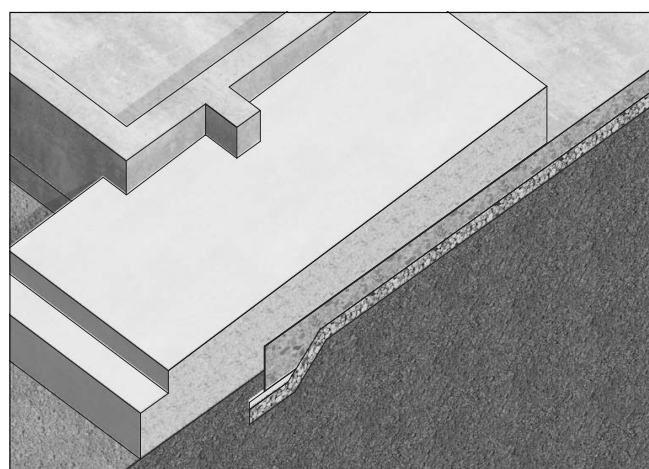
●アリダンコーキングは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。

●アリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

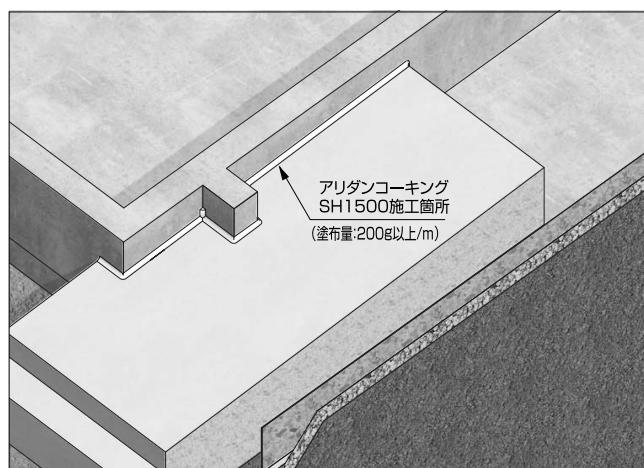
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



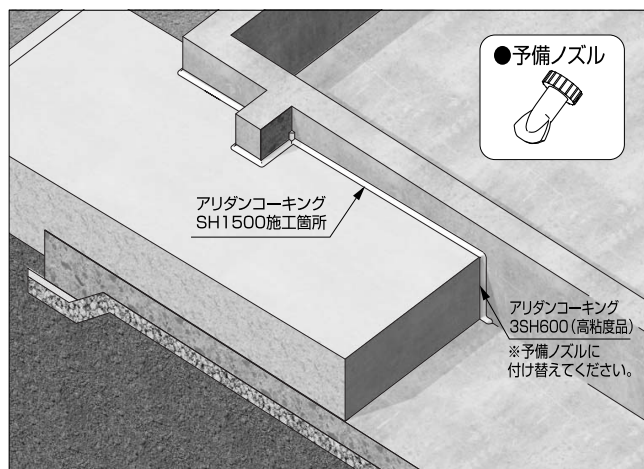
手順1. ●底盤上の木片やゴミを取り除きます。



手順2. ●土間コンクリートを打設します。



手順3. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。（塗布量：200g以上/m）



手順4. ●土間コンクリートと基礎立ち上がり打ち継ぎ部にアリダンコーキング3SH600を塗布します。（塗布量：200g以上/m）  
※予備ノズル（SH1500用ノズル）に付け替えてください。

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合③

使用部材

●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600

●アリダンA剤 ホワイトIIW



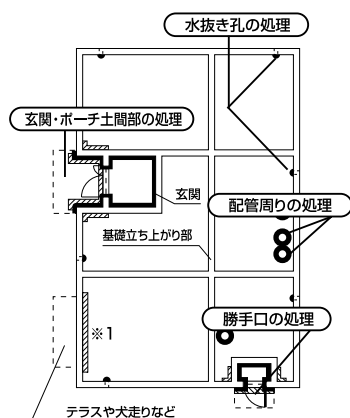
### B-2-1. 「ポーチ土間(盛土・砕石あり)・玄関内土間(盛土・砕石なし)」で 一体で土間コンクリート打設する場合

ポーチ側

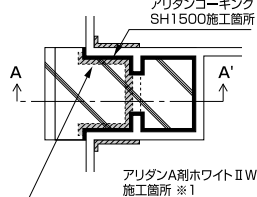
盛土・砕石

コンクリート

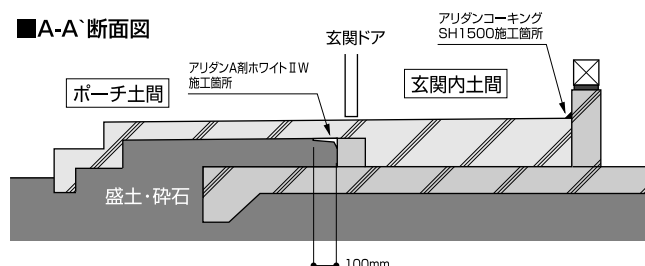
玄関側



#### B-2-1



#### ■A-A'断面図



#### 凡例

●— アリダンコーキング処理必要箇所

▨ アリダンA剤ホワイトIIW処理必要箇所

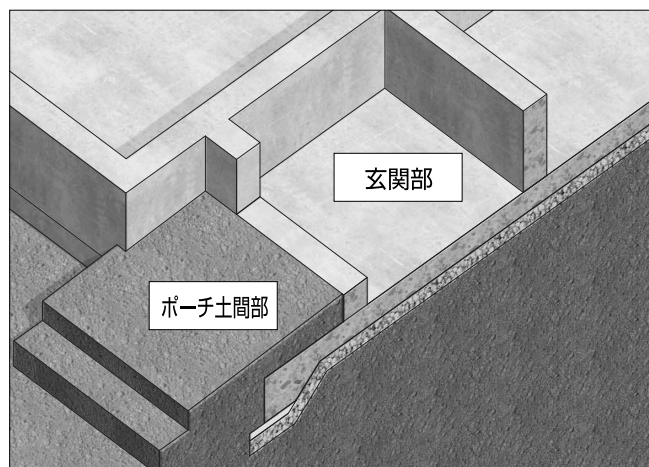
※1. 外周地盤(G.L.)より高い部分への処理

床下側の処理はアリダンコーキングSH1500でも可

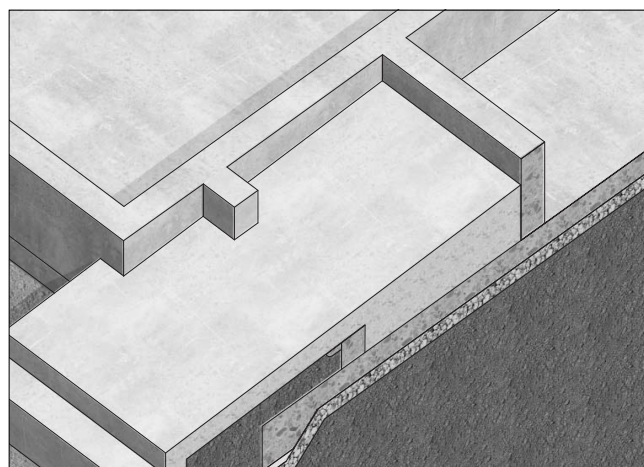


●注意 ●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトIIWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

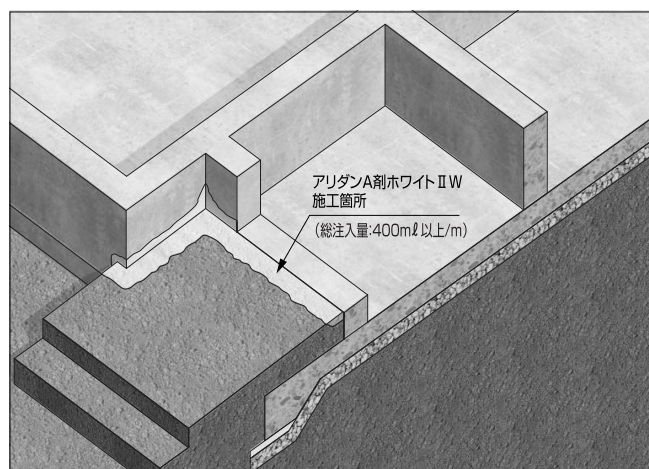
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



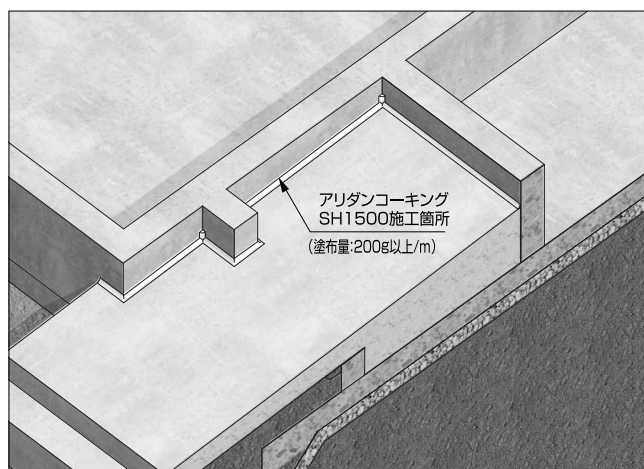
手順1. ●盛土・砕石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順3. ●土間コンクリートを打設します。



手順2. ●ポーチ部基礎際100mmにアリダンA剤ホワイトIIWを注入します。(総注入量:400mℓ以上/m)



手順4. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合④

使用部材

●アリダンコーキング  
SH1500

●アリダンコーキング  
3SH600

●アリダンA剤  
ホワイトIIW



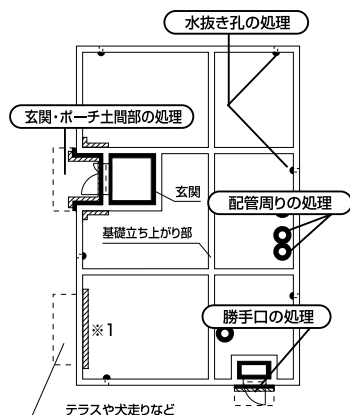
### B-2-2. 「ポーチ土間(盛土・碎石あり)・玄関内土間(盛土・碎石なし)」で分離して土間コンクリート打設する場合

ポーチ側

コンクリート  
盛土・碎石

コンクリート

玄関側



凡例

● アリダンコーキング処理必要箇所

■ アリダンA剤ホワイトIIW処理必要箇所

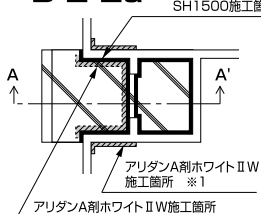
※1. 外周地盤(G.L.)より高い部分への処理

床下側の処理はアリダンコーキングSH1500でも可

#### B-2-2a

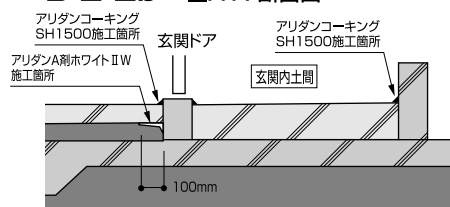
アリダンコーキング  
SH1500施工箇所

#### ■A-A'断面図



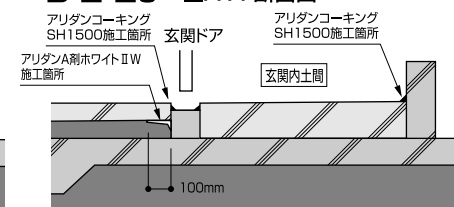
#### B-2-2b

#### ■A-A'断面図



#### B-2-2c

#### ■A-A'断面図

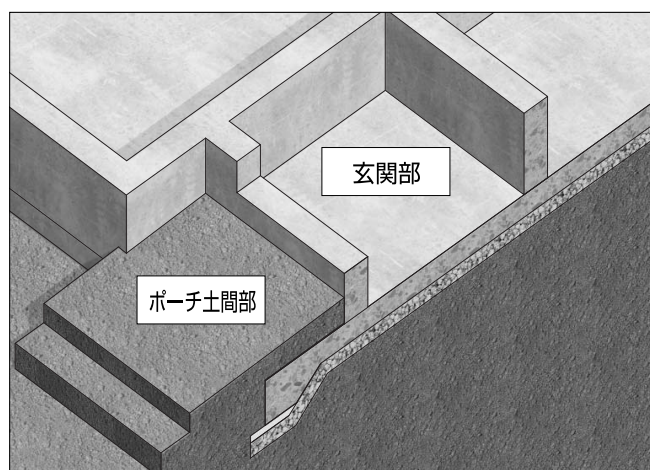


注意

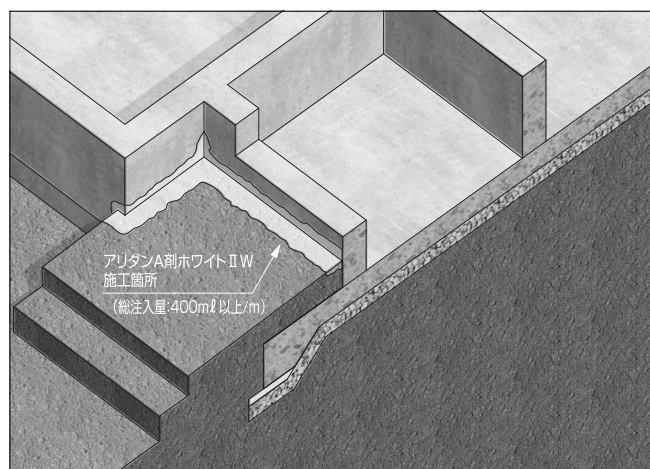
●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトIIWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。

●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

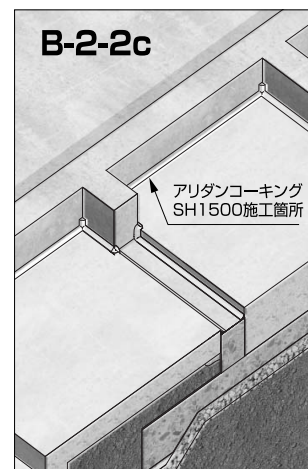
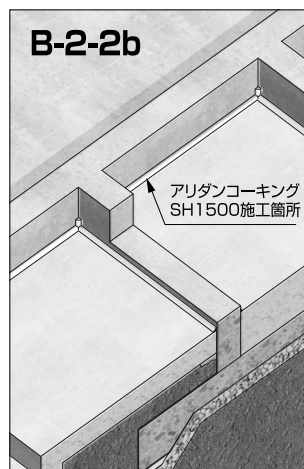
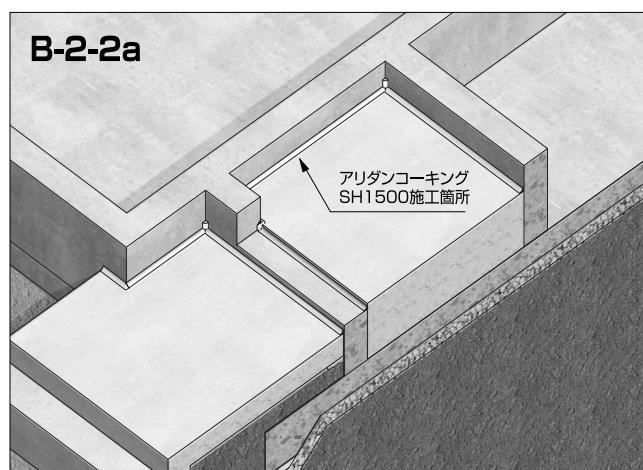
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順2. ●ポーチ部基礎際100mmにアリダンA剤ホワイトIIWを注入します。  
(総注入量:400ml以上/m)



手順3. ●土間コンクリートを打設します。

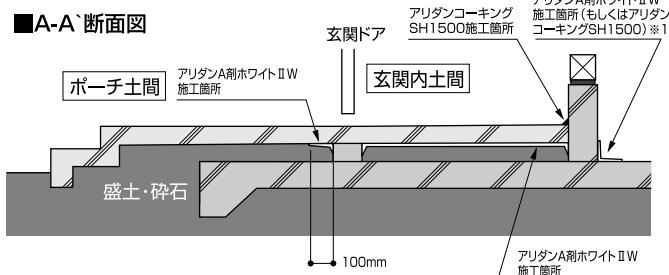
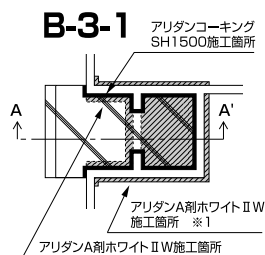
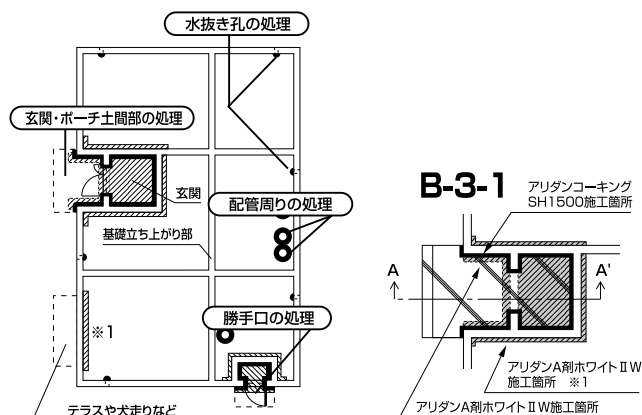
●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合⑤

使用部材  
 ●アリダンコーキング SH1500 ●アリダンコーキング 3SH600 ●アリダンA剤 ホワイトⅡW

### B-3-1. 「ポーチ土間・玄関内土間(ともに盛土・碎石あり)」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりあり」で一体で土間コンクリート打設する場合

ポーチ側  
 コンクリート  
 盛土・碎石  
 盛土・碎石  
 玄関側



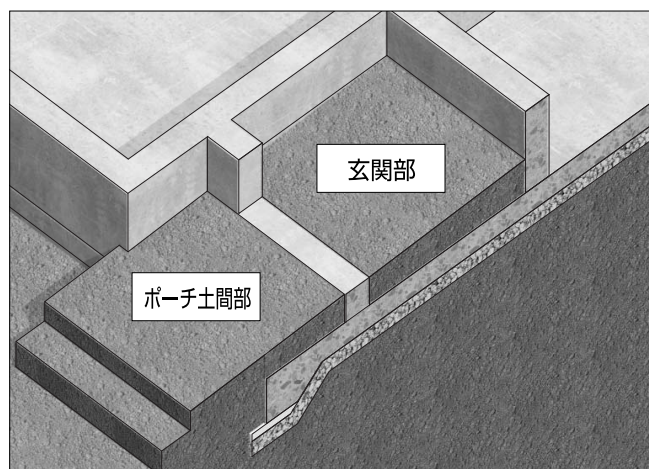
#### 凡例

- アリダンコーキング処理必要箇所
- ▨ アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所

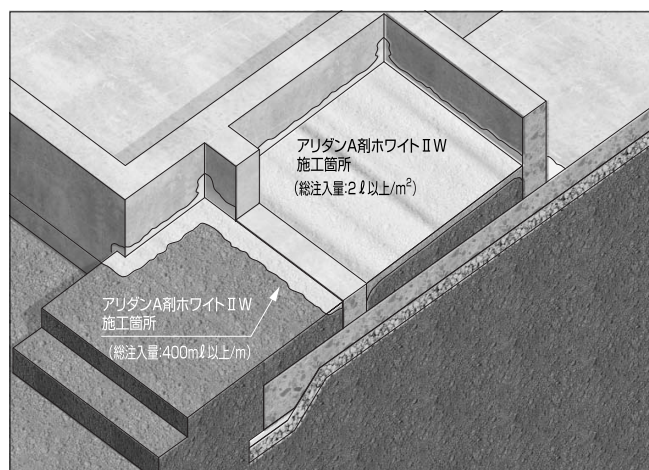
※1. 外周地盤 (G.L.) より高い部分への処理  
 床下側の処理はアリダンコーキングSH1500でも可

⚠ 注意 ●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
 ●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

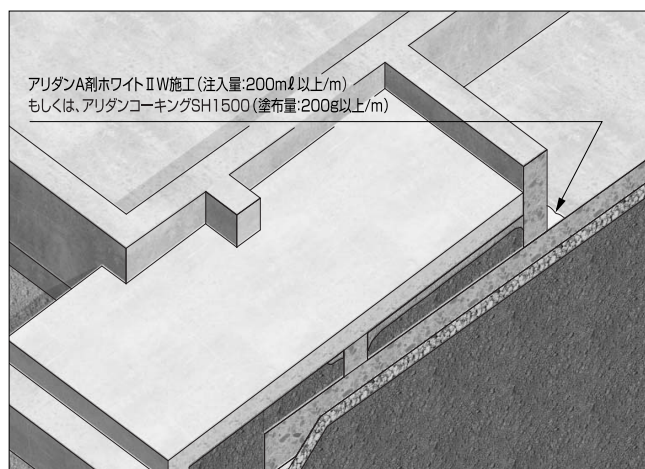
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



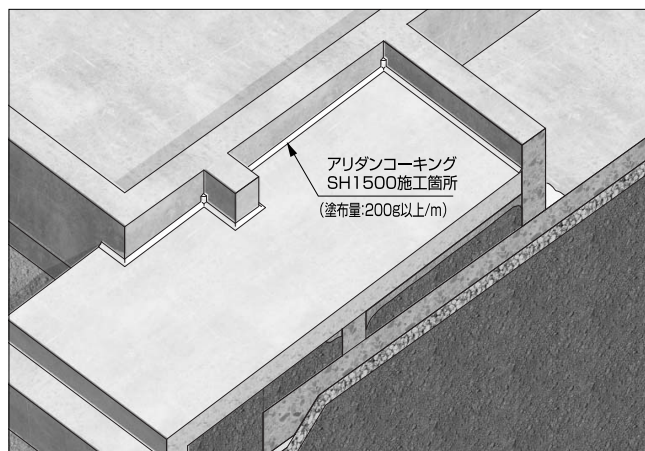
手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトⅡWを、ポーチ部基礎際100mmに注入 (総注入量:400ml以上/m²)、玄関内土間全面に注入 (総注入量2ml以上/m²) します。



手順3. ●土間コンクリートを打設します。  
 ●玄関基礎床側の基礎際にアリダンA剤ホワイトⅡW (注入量:200ml以上/m²) もしくは、アリダンコーキングSH1500 (塗布量:200g以上/m²) を施工します。



手順4. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m²)

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合⑥

使用部材

●アリダンコーキング  
SH1500

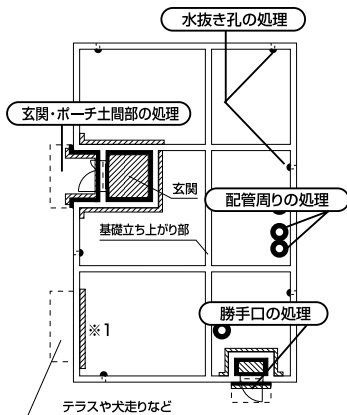
●アリダンコーキング  
3SH600

●アリダンA剤  
ホワイトⅡW

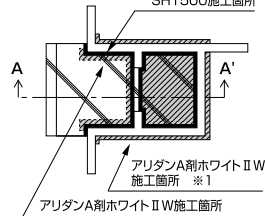


### B-3-2. 「ポーチ土間・玄関内土間(ともに盛土・碎石あり)」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりあり」で分離して土間コンクリート打設する場合

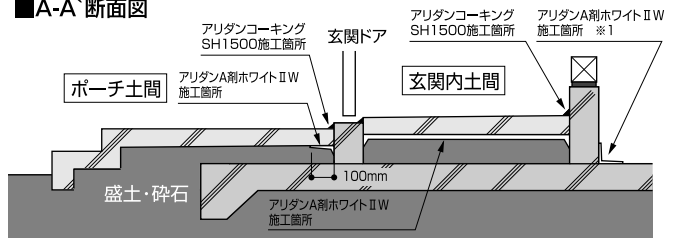
| ポーチ側 | コンクリート<br>盛土・碎石 | コンクリート<br>盛土・碎石 | 玄関側 |
|------|-----------------|-----------------|-----|
|------|-----------------|-----------------|-----|



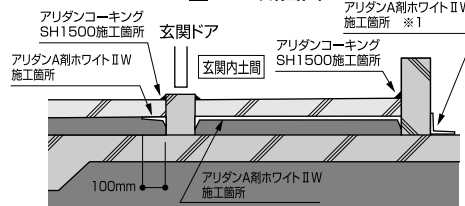
#### B-3-2a



#### ■A-A'断面図

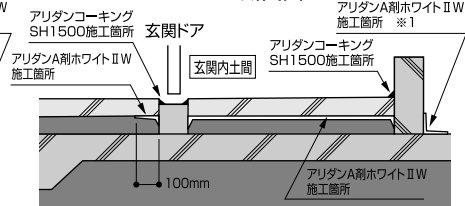


#### B-3-2b



#### ■A-A'断面図

#### B-3-2c



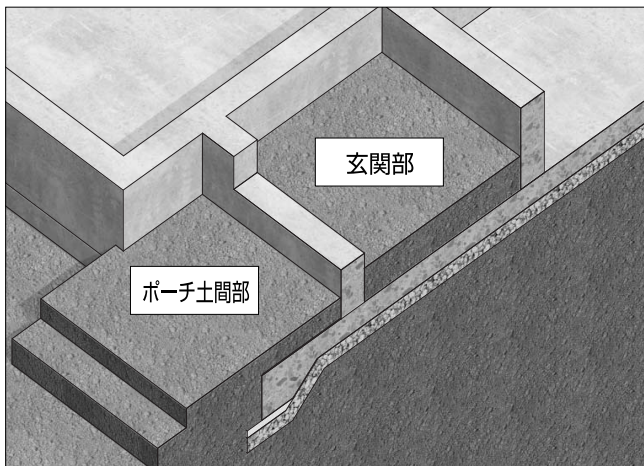
#### 凡例

- アリダンコーキング処理必要箇所
- アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所

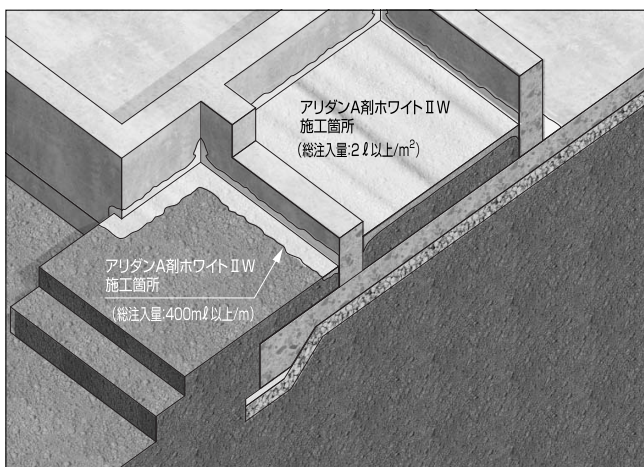
※1. 外周地盤 (G.L.) より高い部分への処理  
床下側の処理はアリダンコーキングSH1500でも可

⚠注意 ●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。  
●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

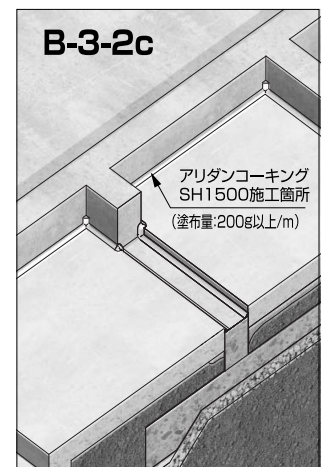
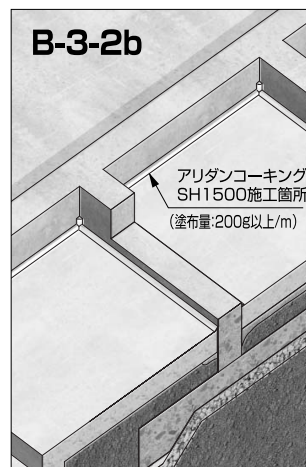
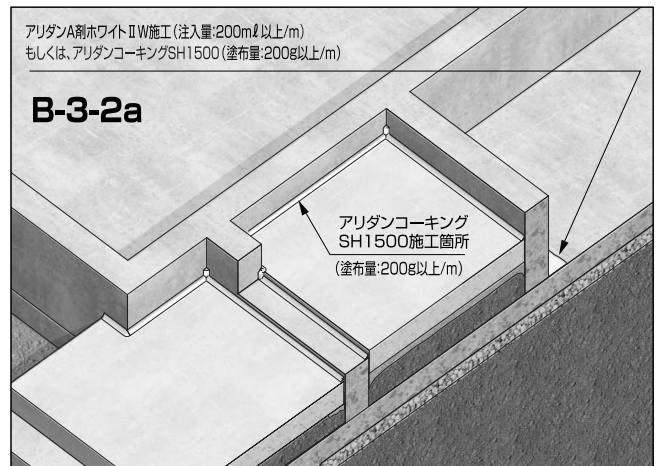
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



手順1. ●盛土・碎石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトⅡWを、ポーチ部基礎際100mmに注入 (総注入量:400mℓ以上/m)、玄関内土間全面に注入 (総注入量2ℓ以上/m²) します。



手順3. ●土間コンクリートを打設します。  
●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量:200g以上/m)

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合⑦

使用部材

●アリダンコーキング SH1500

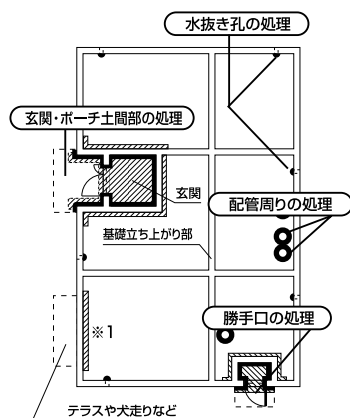
●アリダンコーキング 3SH600

●アリダンA剤 ホワイトIIW

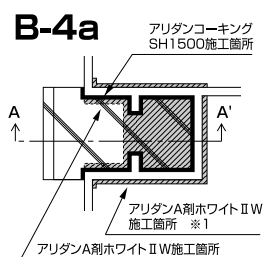


### B-4. 「ポーチ土間・玄関内土間（ともに盛土・砕石あり）」で「玄関ドア下部 基礎立ち上がりなし」で一体で土間コンクリート打設する場合

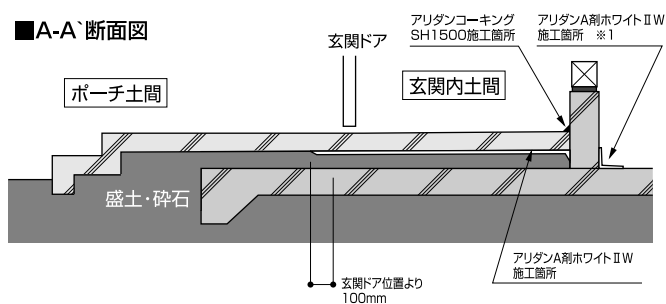
| ポーチ側   | 玄関側   |
|--------|-------|
| コンクリート | 盛土・砕石 |



B-4a



■A-A'断面図



#### 凡例

●— アリダンコーキング処理必要箇所

▨ アリダンA剤ホワイトIIW処理必要箇所

※1. 外周地盤（G.L.）より高い部分への処理

床下側の処理はアリダンコーキングSH1500でも可

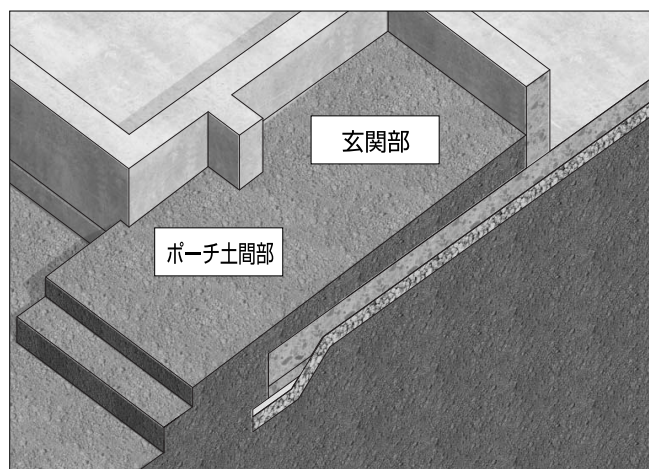


注意

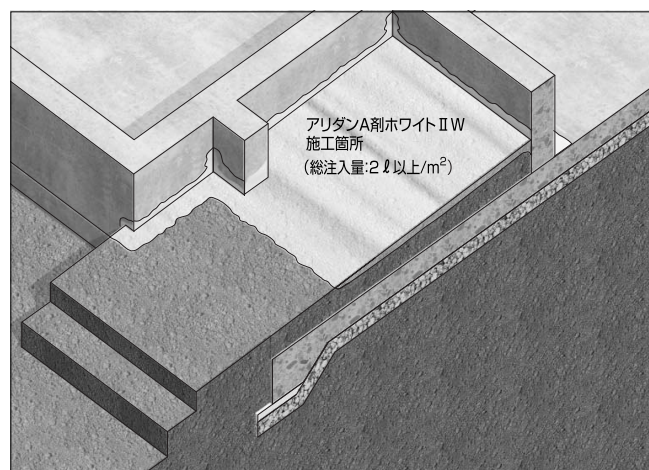
●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトIIWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。

●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

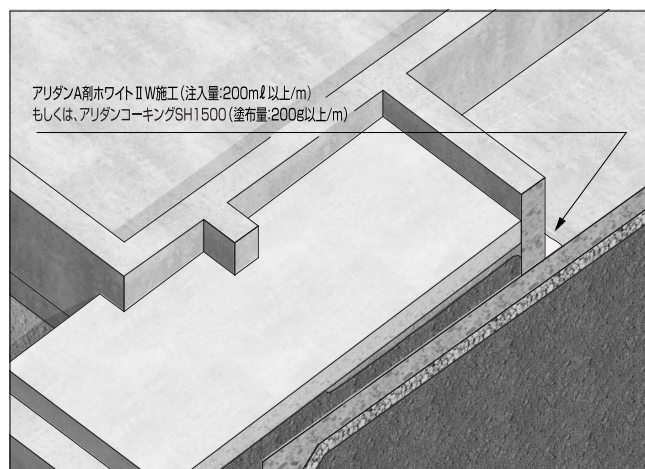
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



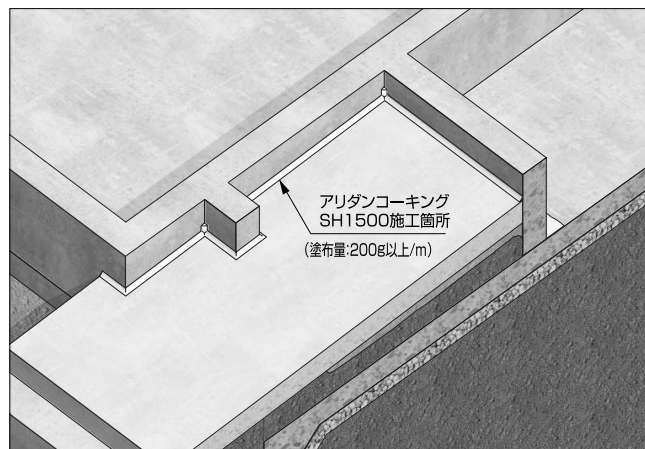
手順1. ●盛土・砕石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトIIWを、玄関・ポーチ部基礎際に注入（注入量：200mℓ以上/m）した後、玄関内土間からポーチ土間100mm出まで全面にムラなく注入（注入量：1.5ℓ以上/m<sup>2</sup>）します。（注入量：2ℓ以上/m<sup>2</sup>）



手順3. ●玄関基礎床側の基礎際にアリダンA剤ホワイトIIW（注入量：200mℓ以上/m）もしくは、アリダンコーキングSH1500（塗布量：200g以上/m）を施工します。  
●土間コンクリートを連続して打設します。



手順4. ●基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。（塗布量：200g以上/m）

## B. 基礎底盤・立ち上がりを「分離してコンクリート打設」する場合⑧

使用部材

●アリダンコーキング  
SH1500

●アリダンコーキング  
3SH600

●アリダンA剤  
ホワイトⅡW



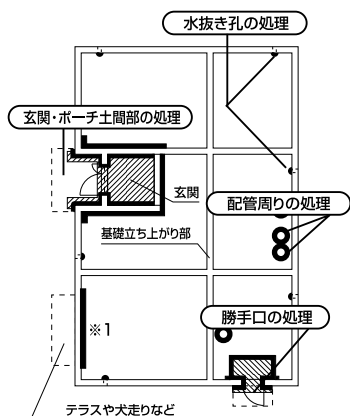
### B-4. 「ポーチ土間・玄関内土間(ともに盛土・砕石あり)」で「玄関ドア下部基礎立ち上がりなし」で一体で土間コンクリート打設する場合

ポーチ側

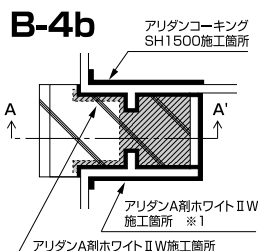
コンクリート

盛土・砕石

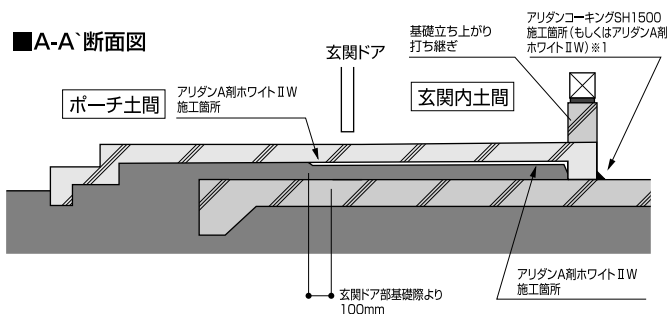
玄関側



#### B-4b



#### ■A-A'断面図



#### 凡例

●— アリダンコーキング処理必要箇所

▨ アリダンA剤ホワイトⅡW処理必要箇所

※1. 外周地盤(G.L.)より高い部分への処理

床下側の処理はアリダンA剤ホワイトⅡWでも可

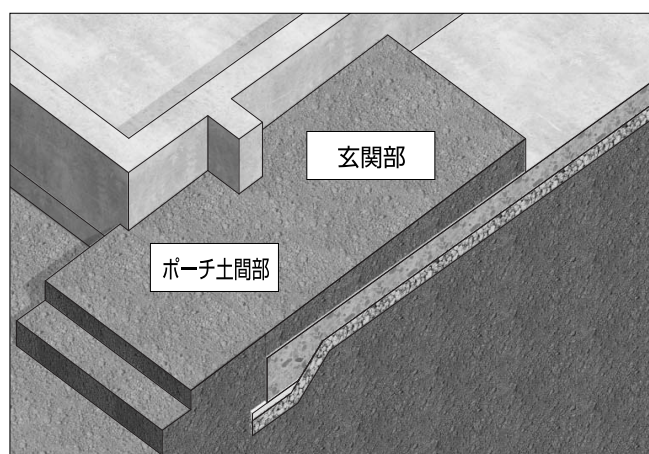


注意

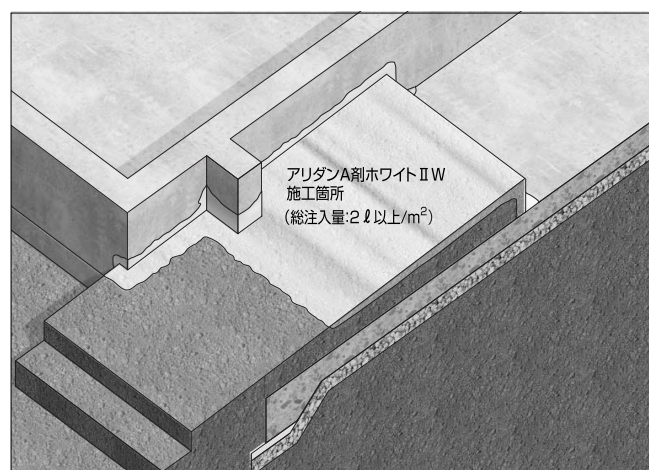
●アリダンコーキング、アリダンA剤ホワイトⅡWは水溶性タイプで、乾燥硬化に時間がかかりますので雨の日の施工は避けてください。

●特にアリダンコーキングの施工は、上棟後に行ってください。

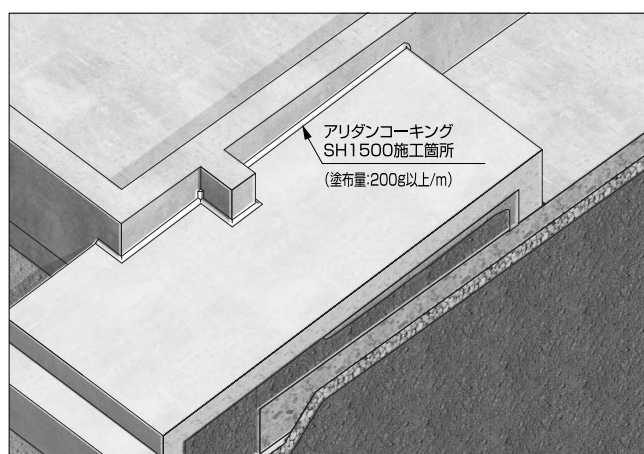
●防蟻処理必要部位例 P.4参照／●部材一覧 P.5参照／●基本施工要領 P.6～P.8参照



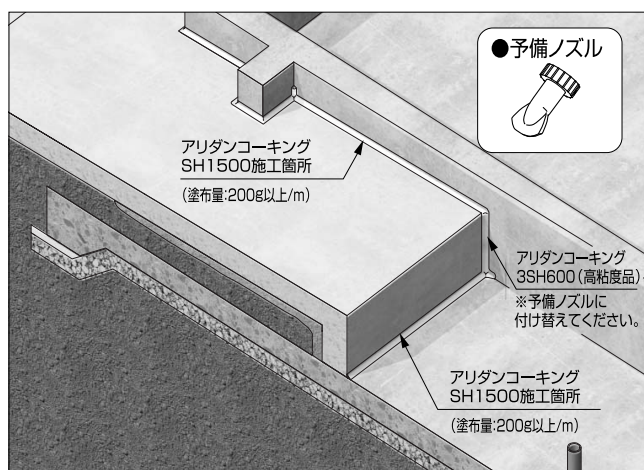
手順1. ●盛土・砕石部の木片やゴミを取り除き、平滑にします。



手順2. ●アリダンA剤ホワイトⅡWを、玄関・ポーチ部基礎際に注入(注入量: 200ml以上/m)した後、玄関内土間からポーチ土間100mm出まで全面にムラなく注入(注入量: 1.5ℓ以上/m<sup>2</sup>)します。(総注入量: 2ℓ以上/m<sup>2</sup>)



手順3. ●土間コンクリート打設後、基礎立ち上がりと土間コンクリートとの打ち継ぎ部のゴミ・ホコリを取り除き、アリダンコーキングSH1500をムラなく塗布します。(塗布量: 200g以上/m)



手順4. ●土間コンクリートと基礎底盤打ち継ぎ部にアリダンコーキングSH1500を、基礎立ち上がりとの打ち継ぎ部にアリダンコーキング3SH600を塗布します。(塗布量: 200g以上/m)  
※予備ノズル(SH1500用ノズル)に付け替えてください。

FUKUVI トータル防蟻システム

# 10年保証 土台パッキン シロアリ保証制度

新築

10年

## 土台パッキン シロアリ保証制度

アリダン コーキングSH1500、3SH600

アリダンA剤ホホワイトⅡW

## 築後10年保証制度

修復費用500万円まで

さらにシロアリ駆除費用付き

新築建物の竣工日から起算します。/当保証システムの防蟻施工は登録事業所様による責任施工が基本です。

「土台パッキン工法 シロアリ保証制度」竣工後、10年間シロアリ被害を保証します。万が一シロアリ被害による被害が出た場合、「最大500万円までの修復費用」を負担します。さらに別途シロアリの駆除費用が付いています。

### ①「土台パッキン シロアリ保証制度」アリダンコーキング塗布・アリダンA剤注入施工（登録事業所様）

- 基礎、玄関打設方法により、使用部材、施工箇所が異なります。玄関部打設方法フローチャート（P.2～3参照）をご確認の上、部材準備・施工を行います。



アリダンコーキング  
SH1500施工



配管周りの処理



アリダンA剤ホホワイトⅡW  
施工



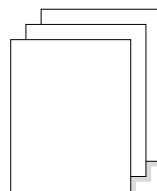
アリダンA剤ホホワイトⅡW  
施工（ジョウロ散布）

### ②工事完了報告／保証書請求（登録事業所様）

施工（工事）終了後は、工事完了報告書の作成および保証書請求手続きを行います。

- 専用の工事完了報告書／保証書請求用紙に必要事項を記入し、指定箇所の写真を添付し、フクビ化学本社建築資材事業部宛に郵送します。

登録  
事業  
所  
様



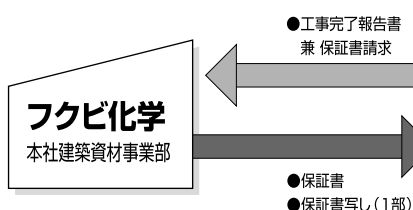
- 工事完了報告書
- 保証書請求用紙

フクビ化学  
本社建築資材事業部

### ③保証書発行

フクビ化学が工事完了報告書／保証書請求用紙の記入内容および写真添付内容を確認し、保証書を発行します。

- 保証書は、原本（お施主様）／複写（登録事業所様控え・フクビ控え）となっています。



登録  
事業  
所  
様

お  
施  
主  
様

- 保証書





本社／福井市三十八社町33の66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585  
工場／本社・坂井(福井)・三方(福井)・大阪・タイ国・USA

**ISO 9001**  
本社・本社工場  
開発本部  
大阪工場・坂井工場

**ISO 14001**  
本社・本社工場  
坂井工場・三方工場  
大阪工場

東京 ☎(03)5742-6301  
札幌 ☎(011)896-7500  
新潟 ☎(025)241-7832  
北関東 ☎(048)661-0400  
静岡 ☎(054)288-3600  
広島 ☎(082)246-7211  
福岡 ☎(092)471-5800

大阪 ☎(06)6386-6950  
盛岡 ☎(019)654-7511  
宇都宮 ☎(028)636-3521  
千葉 ☎(043)247-3651  
北陸 ☎(0776)38-8010  
高松 ☎(087)835-3721  
鹿児島 ☎(099)259-0220

名古屋 ☎(052)532-6661  
仙台 ☎(022)287-3471  
東関東 ☎(029)841-7611  
西東京 ☎(042)529-3911  
京都 ☎(075)662-2315  
岡山 ☎(086)232-0601  
沖縄 ☎090-1943-2112

<http://www.fukuvi.co.jp>

2009.9 ①



●このカタログは環境にやさしい  
再生紙・大豆インキを使用しています。